

鳥取県がん登録事業報告書

平成13年標準集計結果

平成18年3月

鳥 取 県

鳥取県健康対策協議会

目 次

I. がん登録事業の概要	1
1. 鳥取県がん登録の目的	
2. がん登録の対象	
3. 登録事項	
4. 登録のながれ	
5. 医師会の月次処理	
6. 大学の月次処理	
指標の解説	6
II. 鳥取県における平成13年がん罹患・受療状況標準集計結果	7
1. 粗罹患率および年齢調整罹患率	
2. 部位別罹患割合	
3. がん罹患の年次推移	
4. がん罹患の地域別比較	
5. 年齢階級別がん罹患率	
6. がんの受療状況	
7. がん患者の医療機関からの届出状況	
8. 鳥取県における登録精度	
III. 報告資料	15
報告資料1. がん登録対策専門委員会小委員会報告	
報告資料2. 平成17年度がん登録対策専門委員会報告（協議事項）	
報告資料3. 第14回地域がん登録全国協議会総会研究会報告	
報告資料4. 1993-96生存率協同調査結果報告	
報告資料5. 平成17年医療機関別・部位別年間届出件数・新規登録件数集計結果報告	
IV. 資料	
資料1-1 昭和60年モデル人口による年齢調整罹患率	
・年齢調整死亡率の年次推移(人口10万対)	25

資料 1 - 2	昭和 6 0 年モデル人口による年齢調整罹患率 ・年齢調整死亡率の年次推移(人口 1 0 万対)	26
資料 2 - 1	部位別・受診動機別集計結果 (%)	27
資料 2 - 2	部位別・受診動機別集計結果 (実数)	27
資料 2 - 3	部位別・紹介前医療機関受診動機別集計結果 (%)	28
資料 2 - 4	部位別・紹介前医療機関受診動機別集計結果 (実数)	28
資料 3	部位別・治療方法別患者割合 (%)	29
資料 4	治療状況の年次推移.	29
資料 5	主要病院別届出件数の年次推移	30
資料 6	医療機関別届出件数の年次推移 (グラフ)	31
資料 7	2 0 0 4 年主要病院・部位別届出集計	31
資料 8	鳥取県における組織診実施割合 (HV / I %) の年次推移	32
資料 9	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成 1 3 年 男性)	33
資料 1 0	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成 1 3 年 女性)	34
資料 1 1	鳥取県がん罹患集計結果一覧表 (平成 1 3 年 総数)	35
資料 1 2	平成 1 3 年・市町村別罹患数	36
資料 1 3	平成 1 3 年・市町村別年齢調整罹患率 (昭和 6 0 年モデル人口、人口 1 0 万対)	37
資料 1 4	平成 1 3 年 標準化罹患比 (全国 = 1 0 0)	38
資料 1 5	平成 1 3 年 標準化死亡比 (全国 = 1 0 0)	39

V. 参考資料

- 参考資料 1 新規「鳥取県がん登録事業実施要綱」
- 参考資料 2 新規「鳥取県がん登録届出協力依頼状」
- 参考資料 3 新規「届出票」・「問合せ票」・「補充票」・「追跡票」
- 参考資料 4 新規「鳥取県がん登録届出票届出記入要領」
- 参考資料 5 鳥取県がん登録ホームページ掲載画面 (抜粋)

はじめに

平成15年度来3回目の報告書も無事まとめることができました。これも、偏に日頃からご協力、ご支援いただいております届出医療機関の方々のご尽力の賜と心より深く感謝申し上げます。

昨年度は4月から個人情報保護法が全面施行になり、鳥取県でもがん登録患者の診療情報の提供に関する疑問に答えるべく、各種がん検診部会の講習会やがん登録の届出依頼状、医師会報等を通じて全く問題がないことを説明して参りました。地域がん登録事業への診療情報の提供は、厚生労働省健康局長より、個人情報保護法等における「利用目的による制限」および「第三者提供の制限」の本人同意原則の適用除外の事例に該当する旨の通知がされていますし、「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取り扱いのための」ガイドラインでも、同様に公衆衛生の向上のために特に必要がある場合には、「本人の同意を得る必要はない」と明記されています。昨今、個人情報保護法に対する「過剰反応」が相次いでいるのを受けて、政府一体で法の運用見直しを申し合わせたようですが、がん登録の地域による温度差をなくすためにも早急な「がん登録の義務化」が望まれます。

新しい動きとして、昨年5月末に「成人病登録実施要綱」は、制定から20年以上が経過し現状との齟齬が目立つほか、今日の法的要請に込める内容とは言い難いことから、廃止して新たに現状に即した「鳥取県がん登録事業実施要綱」を制定することができました。その結果、疫学研究のための登録情報の提供が可能となり、その後いくつかの利用申請があり承認されております。登録資料ががん予防やがん診療の改善に活用されることは歓迎されるのはいうまでもありませんが、そのためにも登録精度の向上は不可欠であります。しかしながら、鳥取県のがん登録精度は、全国的には未だ不満足な状況にあります。「登録なくして評価なし」といわれますように、がん登録の必要性と意義および公益性を理解していただき、がん登録の届出の役割を充分認識していただけるように情報提供と情報還元に努めて参りたいと思います。

届出していただいております各医療機関におかれましては、今後ともご協力ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年3月吉日

鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会
委員長 岸本拓治

I. がん登録事業の概要

鳥取県における地域がん登録は、昭和44年、45年の悪性新生物調査を基盤とし、昭和46年からは鳥取県医師会、鳥取県、鳥取大学医学部の三者で構成される「鳥取県健康対策協議会」発足と同時に、がん対策専門委員会（昭和59年よりがん登録専門委員会と改称）が「鳥取県腫瘍登録」（通称がん登録）として実施・運営を行っている。

本事業の特徴は、県内の事業に加えて、厚生労働省のがん登録特別研究助成金による研究班に参加することで、現在全国で13府県1市ががん登録を実施している。ルーチン作業としては、各年度の標準集計であり、3年遅れで全国の集計結果を発表している。

1992年からは「地域がん登録全国協議会」の発足に伴い鳥取県も参画し、地域がん登録の精度向上と活用ならびに登録技術・情報の交換を目的にした活動をおこなっている。

1. 鳥取県がん登録の目的

鳥取県内のがん登録情報を基にして、がん予防活動の推進、がん医療の向上と評価を目的とする以下の諸活動を行うことによって、県民の健康の保持増進に資することを、最終目標とする。

- (1) 罹患数および罹患率の集計と動向の把握
- (2) がん患者の受療状況の把握
- (3) 登録患者の生存率の測定と動向の把握
- (4) がん予防、医療活動の企画のための基礎資料の提供ならびに評価
- (5) 医療機関との情報交流
- (6) 疫学研究への活用
- (7) 年度毎に採択される課題研究の実施

2. がん登録の対象

(1) 鳥取県居住者で下記の疾患と診断／疑診された者、または死亡した者である。

- 1) 悪性新生物（ICD-10のC00-96）
- 2) 上皮内癌（ICD-10のD05-D06）
- 3) 性質不詳の新生物（ICD-10のD37-D48）

この中には、良性と明記されていない脳腫瘍、内分泌腫瘍を含んでいる。

(2) 鳥取県内居住者であって死亡した者のうち、死亡票のいずれかの欄に悪性新生物の記載、または性質不詳の悪性新生物の記載のある者も対象としている。なお、最終的に死亡票の情報のみで登録された者は「死亡日」を「診断日」として、「罹患数」に加えている。

3. 登録事項

がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項について登録する。

- (1) 届出医療機関
- (2) 氏名
- (3) 性別
- (4) 生年月日

- (5) 現住所
- (6) 診断名
- (7) 病理組織診断名
- (8) 病巣の拡がり
- (9) 初診年月日
- (10) 症状初発年月
- (11) 受診の動機
- (12) 診断・疑診年月日
- (13) 診断根拠
- (14) 治療方法
- (15) 生存状況
- (16) 前医療機関
- (17) 紹介医療機関

4. 登録のながれ

- (1) 医師が県内居住者の悪性新生物、または性質不詳の新生物を診断または疑診したとき、あるいはそのような患者の死亡したときは、届出票記入要領に従って、「鳥取県がん登録届出票」に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて、鳥取県医師会腫瘍調査部に送付する。

また、医師は腫瘍調査部から「問い合わせ票」、「追跡票」または「補充票」を受け取ったときには、同様に所定の事項を記入し、「返信用封筒」を用いて返送する。

- (2) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、医療機関から送付された月間の「届出票」および回答された「問い合わせ票」または「追跡票」について、既に届出られている者に関する「届出票」か否かを調べ、同一人の記録がレコード・リンケージされるようにデータ入力を行う（原票登録処理）。

次いで「届出票」に記入もれや疑義、または不明な点が発見されれば「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して、届出た医療機関に問い合わせる。

- (3) 「届出票」の項目 (16)、(17)に記入されている医療機関から、その患者について届出がなされていない場合は、その記入されている医療機関宛に、「問い合わせ票」と「問い合わせ依頼状」とを作成して送付する。

- (4) 鳥取県医師会腫瘍調査部は、毎月、所定の届出処理が終わった「腫瘍登録簿」および「届出票」と回答された「問い合わせ票」を鳥大医学部環境予防医学分野に送付する。

- (5) 鳥大医学部環境予防医学分野は、県医師会腫瘍調査部から送付された「腫瘍登録簿」に基づいて、毎月、既登録の「腫瘍登録簿」と照合し未登録であれば、登録番号を発行して「腫瘍登録簿」に記入する。

- (6) 死亡小票照合は、鳥取県福祉保健部の協力によって鳥大医学部環境予防医学分野が行うもので、「腫瘍登録簿」と死亡小票の照合を行って、「腫瘍登録簿」中の死亡者の確認と、未登録の悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者の発見を行うものである。毎年1回行うものとする。

- (7) 死亡小票照合によって、「腫瘍登録簿」中の死亡が確認された者は、死亡小票から必要事項を転記する。

- (8) 「腫瘍登録簿」以外の死亡小票中悪性新生物または性質不詳の新生物による死亡者は、「補充票」に死亡小票から必要事項を転記し、死亡診断書作成の医

療機関に「補充票」と「補充票届出依頼状」とを送付して届出を求める。

(9) 県医師会腫瘍調査部は、登録された者の生死の確認を行うために死亡小票照合と「追跡票」発送とを行う。

「追跡票」の発送とは、上述の処理の後、**必要に応じて**「腫瘍登録簿」中に生存者となっている者の生死を確認するために行うものである。

(10) 鳥取大医学部環境予防医学分野は、年1回の標準集計に基づく腫瘍データを利用して、罹患および死亡状況についての集計解析を行い、所定の統計表並びに腫瘍データリストを作成する。

集計結果は、毎年、年単位で鳥取県医師会腫瘍調査部および鳥取県健康対策協議会がん登録対策専門委員会によって「鳥取県がん登録事業報告書」としてにまとめられ、協力医療機関をはじめとして、市町村、県外がん登録室に送付される。また、ホームページにも掲載される。

以上の作業によって「腫瘍登録」患者は少なくとも毎月、記録の追加、訂正、更新が行われることとなり、罹患状態並びに死亡状態について届出医療機関との間で処理の細かい情報交流が行われることになる。

なお、集計時期については以下の考えに従って3年遅れの集計を実施している。

がん（悪性新生物）は、診断確定の難しい疾病であり、治療期間も長期に及ぶ。そのため、届出が遅れることを想定し、集計は、診断年の少なくとも2年以降に行うことが、厚生労働省がん研究助成金による「地域がん登録」研究班が発行した「地域がん登録の手引き」で定められている。これを「標準集計」としており、本県もこれに従って毎年実施している。

次頁と次々頁には、鳥取県医師会腫瘍調査部と鳥取大学医学部でルーチンとして行われる登録実務をフローチャートで描き表している。

A. 医師会における月次処理①

届出データの入力、医療機関別・部位別届出件数の集計

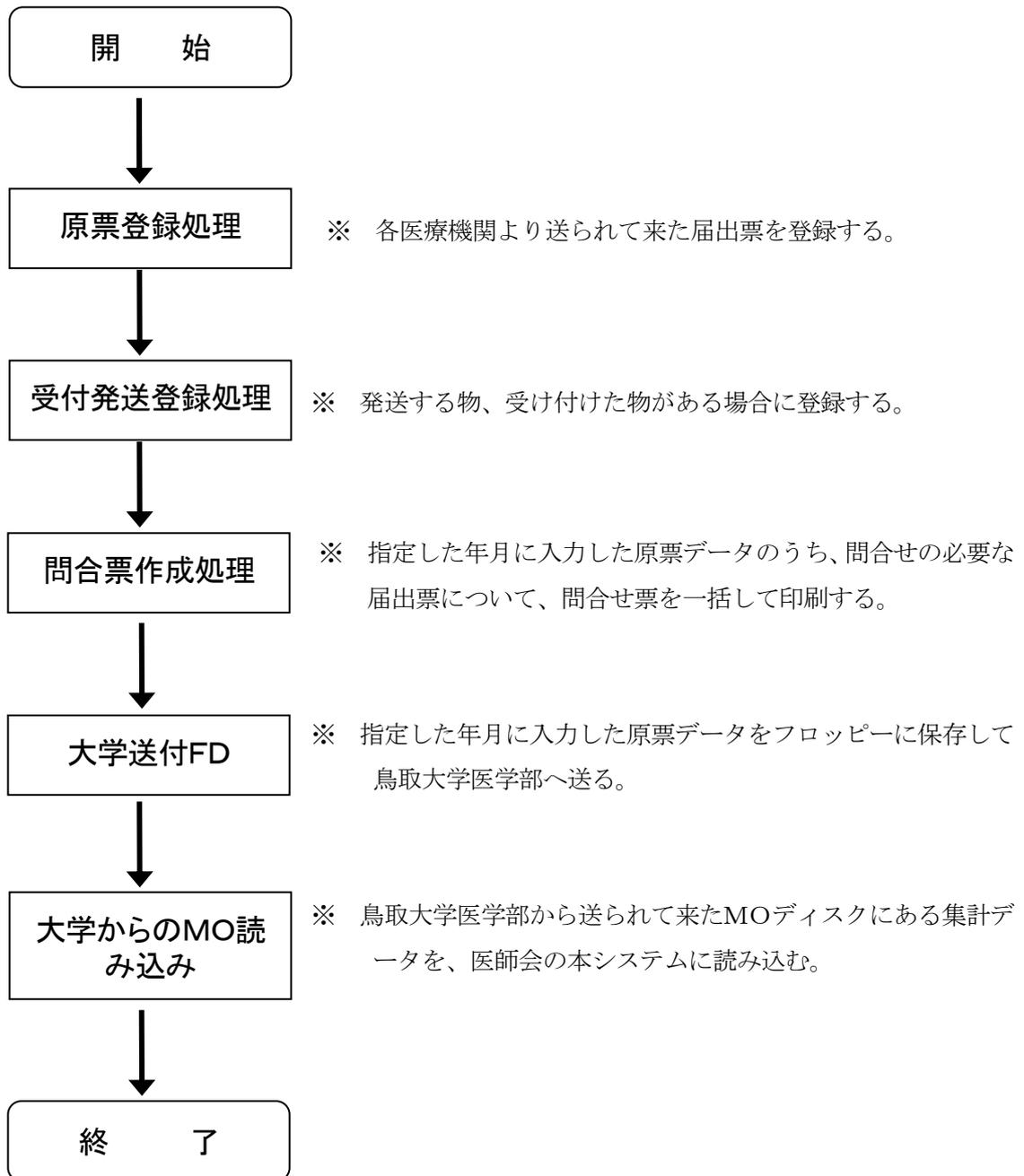
B. 大学における月次処理②

腫瘍登録簿の照合処理（既登録／未登録の判別）→登録番号の発行

医師会の月次処理①

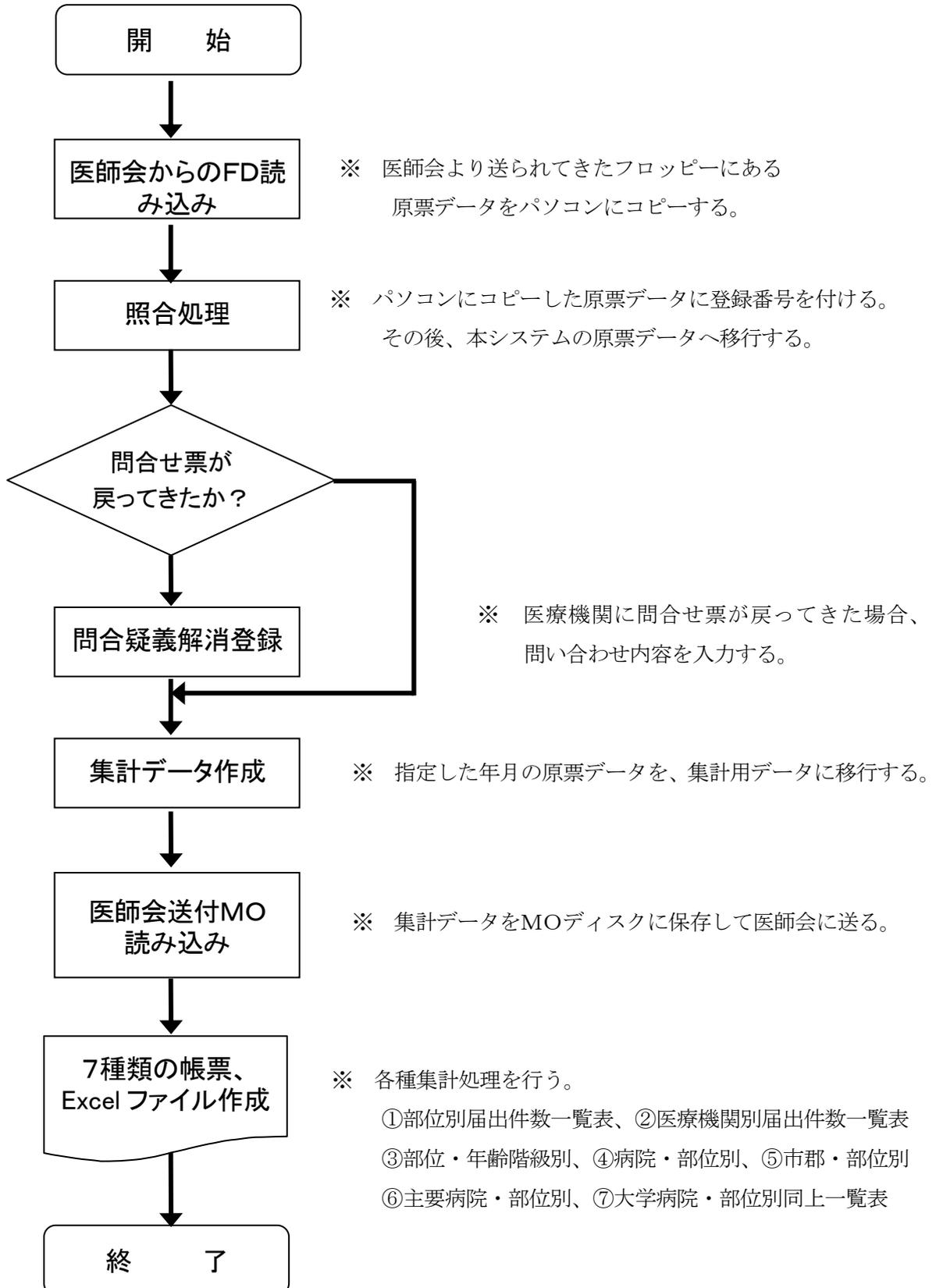
届出データ入力、医療機関別・部位別届出件数集計

医師会腫瘍調査部は、毎月、以下の流れで処理を行う。



大学の月次処理②：照合処理（既登録／未登録）→登録番号の発行

鳥取大学医学部は、毎月、以下の流れで処理を行う。



指 標 の 解 説

1 罹患数、届出患者数

届出患者数は、医療機関より届出があった患者が初めて悪性新生物と診断された年月日をもとに、集計対象年（その年の1月1日より12月31日まで）のがん患者の届出の数である。

罹患数は、届出患者数と届出がなく集計対象年の死亡情報により悪性新生物で死亡した患者数の合計数のことである。

2 死亡数

厚生労働省人口動態調査死亡票鳥取県分による。

$$3 \text{ 罹患率（死亡率）} = \frac{\text{罹患数（死亡数）}}{\text{人 口}} \times 100,000$$

$$4 \text{ 年齢調整罹患率} = \frac{\left\{ \left[\begin{array}{l} \text{観察集団の年齢階級 標準人口のその} \\ \text{別罹患率（死亡率）} \times \text{年齢階級別人口} \end{array} \right\} \right\} \text{の年齢階級の総和}}{\text{標 準 人 口 の 総 和}} \times 100,000$$

$$5 \text{ 罹患数のうち死亡情報で初めて登録された者の割合（DCN 割合）} = \frac{\text{死亡情報で初めて登録した数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報で初めて把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$6 \text{ 罹患数のうち死亡情報のみで登録された者の割合（DC0 割合）} = \frac{\text{死亡情報のみの登録数}}{\text{対象年の罹患数}} \times 100$$

毎年集計する対象年のがんに罹患した者（罹患数）の中で、死亡情報のみで把握された（医療機関からのがんの届出なし）者の割合を表す。この値が低いほど、地域がん登録の精度が良いことになる。

$$7 \text{ 組織診断の実施割合} = \frac{\text{病理診断を行った患者数}}{\text{罹患数（届出患者数）}} \times 100$$

収集された資料の医学的信頼度を示すために用いる。この指標は死亡情報も含めた罹患数に対する組織診断の実施割合（H/I）と医療機関より届出があった罹患数（届出患者数）に対する組織診断の実施割合（H/R）とがある。一般的には後者を指標とする。

$$8 \text{ 罹患／死亡比（I/D）} = \frac{\text{罹患数}}{\text{死亡数}}$$

集計対象年の悪性新生物の罹患数が、その年の悪性新生物の死亡数の何倍かを示す。この値が、1.5～2.0であれば、届出の漏れが少ないと判断できる。

9. 標準化罹患（死亡）比

= 実際の罹患（死亡）数 / 期待罹患（死亡）数 × 100 …… 全国を100とした場合の罹患（死亡）比

$$= \frac{\text{平成1～5年（または平成6年～11年）の平均実罹患（死亡）数}}{\left\{ \text{中央年該当市町村の年齢階級別人口} \times \text{中央年の全国推計罹患（死亡）率} \right\} \text{の総和}} \times 100$$

II. 鳥取県における平成 13 年がん罹患・受療状況標準集計結果

1. 粗罹患率および年齢調整罹患率

a) 罹患集計

厚生労働省がん登録研究班のがん罹患の標準集計方式に従い平成 13 年の罹患集計を行った。がんの全部位では罹患総数 3,099 件（男 1,787、女 1,312）で、人口 10 万対粗罹患率は男 609.6、女 410.1 であった。

年齢調整罹患率（標準人口は 60 年日本人モデル人口）は、男 388.3、女 232.5 であった。

部位別に見ると、鳥取県における罹患割合は、男女共に胃が最も高く（男 23.0%、女 17.7%）、次いで男では肺（17.0%）、結腸（11.4%）、肝臓（9.2%）が高く、女では結腸（12.7%）、乳房（11.2%）の順となった（表 1）。年齢調整罹患率は、男では胃 94.1、肺 62.2、結腸 44.2、肝臓 35.9、女でも胃 38.9、乳房 35.6、子宮 27.3 となり、男は罹患割合と同じ順位であった（表 1）。

地域別の標準化罹患比（全国値＝100）では、東部では男女とも肝臓、胃、中部では男の胃、肝臓と肺および女の子宮が、西部では男の結腸、女の肺が高い罹患比を示した。しかし、女の乳房が東部では 72.4、西部では 68.3 の低い罹患比であった（表 2）。

年齢調整罹患率を年次推移（1988－2001 年）で見ると、男の結腸、直腸で減少傾向が見られた。女の肝臓、直腸では横這い傾向が見られた。男の肝臓、肺、女の全部位、乳房、結腸、肺では増加傾向を見た。

なお、今年度は「2001 年の罹患・受療・進行度、及び、2000 年の全国罹患・罹患率推計に関わる協同調査」（いわゆる標準集計）が諸般の都合で、取りやめになったため、例年報告していた全国推計値をはじめ府県市別比較ができなかったのが割愛した。

表 1 鳥取県における性、主要部位別がん罹患状況－2001年－

男	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	前立腺	膀胱	食道	リンパ 腫
罹患数	1,787	411	203	80	164	36	71	303	116	65	86	29
罹患割合 (%)	100.0	23.0	11.4	4.5	9.2	2.0	4.0	17.0	6.5	3.6	4.8	1.6
粗罹患率	609.6	140.2	69.2	27.3	55.9	12.3	24.2	103.4	39.6	22.2	29.3	9.9
調整罹患率	388.3	94.1	44.2	18.5	35.9	7.6	14.2	62.2	22.0	13.8	19.7	6.0
全国推定罹患率	381.7	87.1	43.8	25.7	32.4	9.9	13.0	55.7	21.7	14.2	15.3	9.3

女	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢 胆管	膵臓	肺	乳房	子宮	卵巣	リンパ 腫
罹患数	1,312	232	167	62	77	58	57	131	147	105	47	31
罹患割合 (%)	100.0	17.7	12.7	4.7	5.9	4.4	4.3	10.0	11.2	8.0	3.6	2.4
粗罹患率	410.1	72.5	52.2	19.4	24.1	18.1	17.8	40.9	45.9	32.8	14.7	9.7
調整罹患率	232.5	38.9	26.5	10.2	11.4	6.5	7.7	19.0	35.6	27.3	10.8	5.4
全国推定罹患率	237.4	33.3	25.9	12.0	10.7	7.5	7.6	16.9	46.4	24.7	8.9	5.6

*全国推定罹患率は1999年（1998-2000）データを使用

2. 部位別罹患割合と年次比較

鳥取県における部位別罹患割合は、男女共に胃が最も高く（男 22.6%、女 18.5%）、次いで男では肺（15.2%）、肝臓（11.5%）、結腸（8.8%）が高く、女では結腸（10.8%）、乳房（10.2%）の順となった（表 2）。全国と比較すると、男の肝臓と結腸、前立腺と直腸の順位が逆転したほかはほぼ一致したが、女では乳房の順位が全国の女（16.1%）が 1 位であったのに対して鳥取県では 3 位となった（次頁図 1）。罹患・死亡割合の 1979 年と 2000 年の年次比較をみると、罹患・死亡割合とも胃、子宮で減少、とくに胃の死亡と子宮の死亡割合は半減している。逆に、顕著に増加した部位は男女とも結腸で、死亡・罹患割合とも 2 倍から 3 倍に増加した。また、女の肺は死亡・罹患割合とも増加した（次頁：図 2-1、図 2-2）。

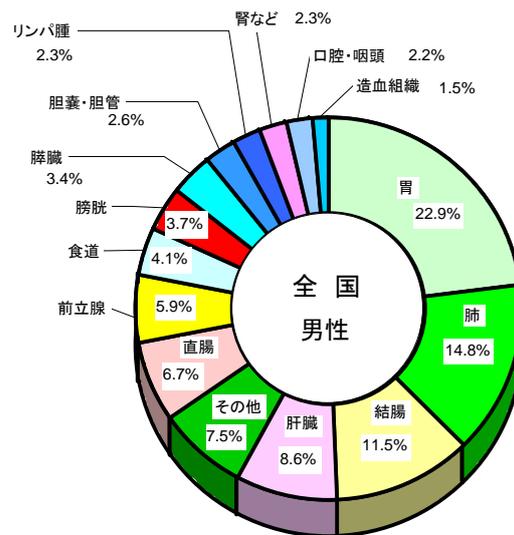
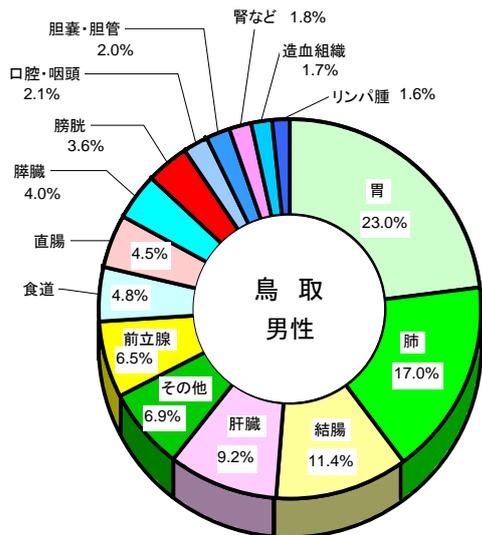


図1 罹患割合の性別・全国比較

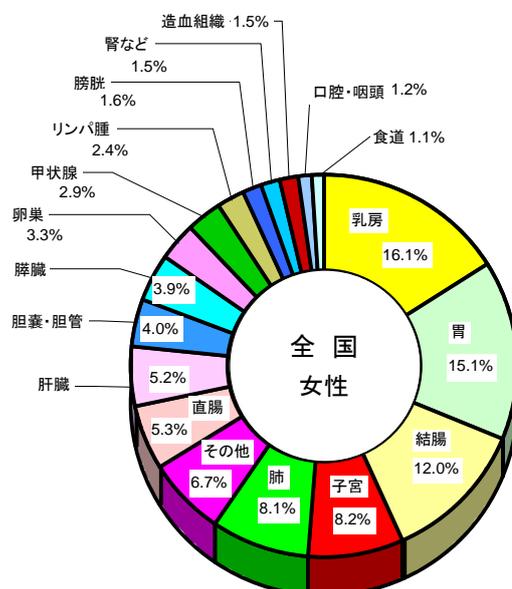
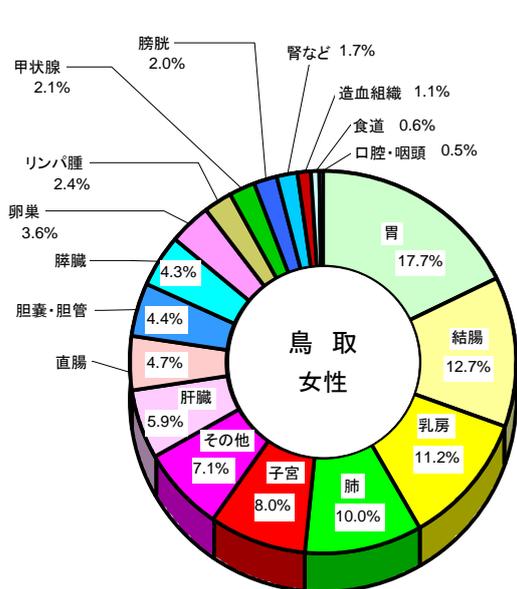


図2-1 罹患・死亡割合の年次推移(男)

(単位: %)

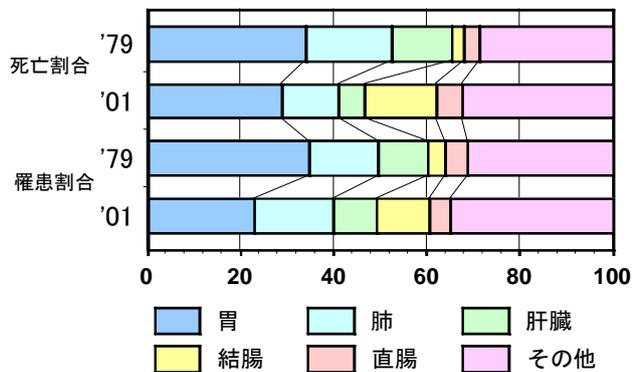
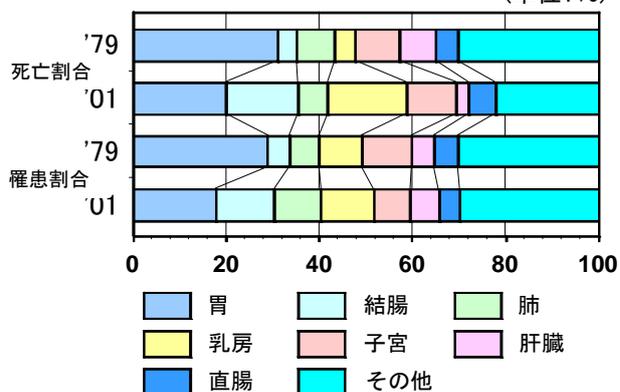


図2-2 罹患・死亡割合の年次推移(女)

(単位: %)



3. がん罹患の年次推移

1) 罹患数

男女とも全部位、肺、結腸、男では前立腺、女では乳房、子宮において罹患数の増加傾向が観察された。全部位では、1979-80年の851件/年から2001年の1,787件/年の顕著な増加を、とりわけ男の結腸では、33件から203件の6倍強もの顕著な増加を示した（図3-1、図3-2）。

2) 罹患割合

男女とも胃の減少が顕著であるが、未だ男女とも胃が最も高い罹患割合を示す。男では肺、結腸が、女では結腸と乳房で増加傾向が見られた（図2-1、図2-2）。

3) 年齢調整罹患率

調整罹患率の年次推移（1988-2001年）でみると、2001年は男は肝臓、直腸で、女は直腸、で減少傾向が見られた。しかし、男の結腸、女の結腸、乳房、肺では漸増傾向を見た。（図4-1、図4-2）。

一方、調整死亡率の推移は、男は全部位、胃、肺に減少傾向が見られ、女は胃、乳房で減少傾向が見られた。しかし、男の肝臓、結腸、女の肺、結腸は増加傾向を見た（図5-1、図5-2）。

図3-1 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(男)

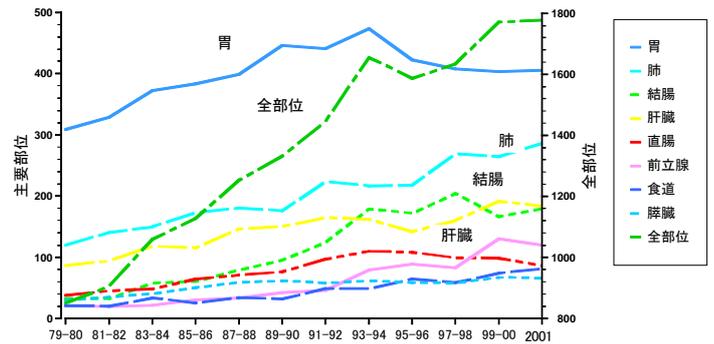


図3-2 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(女)

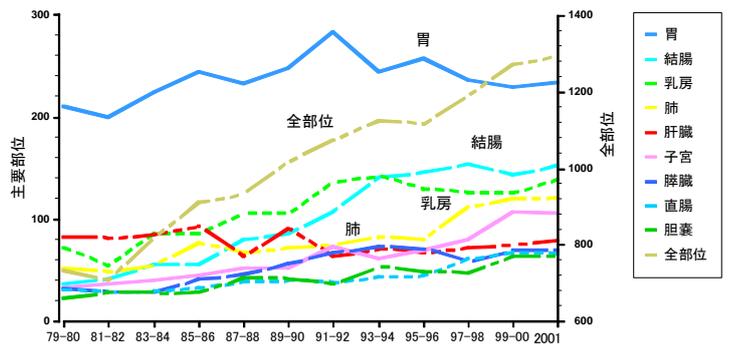


図4-1 年齢調整罹患率の年次推移(男)

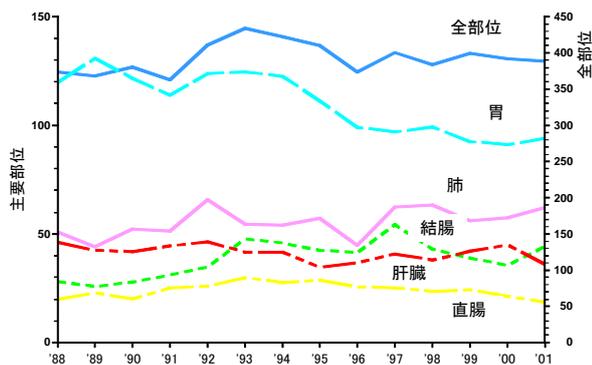


図4-2 年齢調整罹患率の年次推移(女)

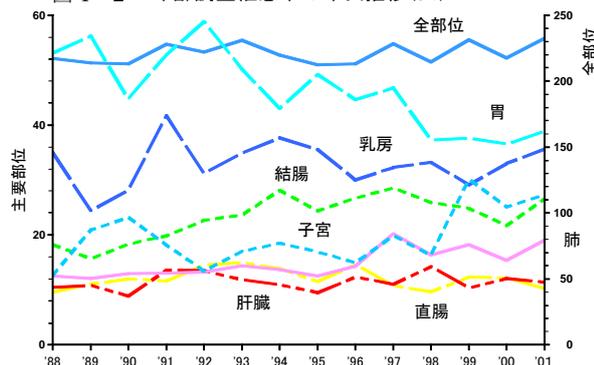


図5-1 年齢調整死亡率の年次推移(男)

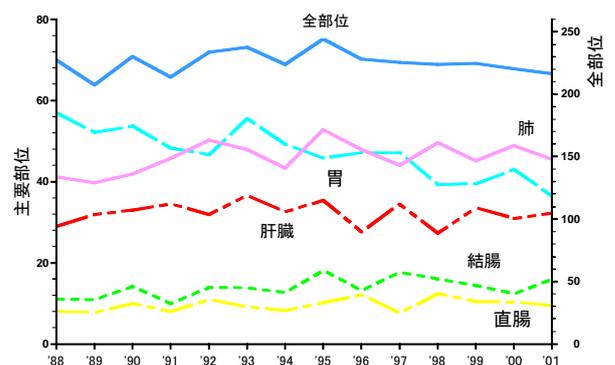
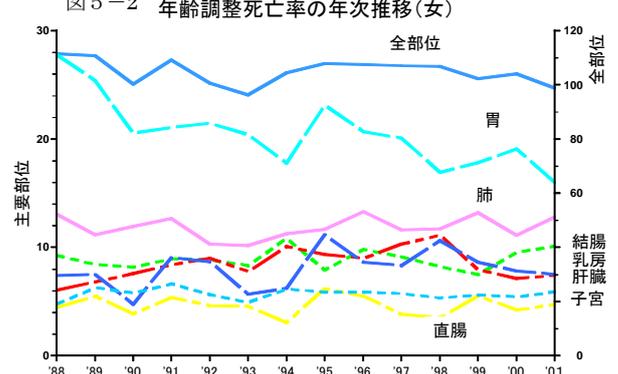


図5-2 年齢調整死亡率の年次推移(女)



4. がん罹患の地域別比較 (2001年)

1) 年齢調整罹患率による比較

東部では男の全部位、胃、肝臓、肺、女の胃、肝臓が、中部では、男の胃、女の乳房、子宮、西部では男の結腸と肝臓、女の胃、結腸、肺が全国値を上回る高い罹患率を示した。市郡別では、気高郡の男女の胃、日野郡の男女の結腸が、八頭郡の男の肝臓および岩美郡の男と西伯郡の女の肺が高い罹患率を示した (図6-1～図6-4 資料13)。

2) 標準化罹患比 (全国=100) による比較

年齢調整罹患率と同様、地域別標準化 (全国値=100) でも、東部では男女の肝臓、女の胃と肺が、中部では男の肝臓と肺、女の乳房と子宮が、西部では男の肝臓と女の肺が高い罹患比を示した。しかし、西部では女の乳房が68.3の低い罹患比であった (表2)。

市郡別には、倉吉市の男の肝臓が163.1、境港市の女の肺が148.7、岩美郡の女の肝臓と直腸が259.6、189.1、東伯郡の女の子宮185.8、西伯郡の男の肝臓が153.1、日野郡の男の結腸が229.5、女の胃が176.6と高い罹患比を示した。ちなみに、標準化死亡比においても倉吉市の男女の直腸が251.0、162.5、男の肝臓が159.4、境港市の男の肝臓が147.9、女の直腸が185.1、肺が148.8、子宮が229.5、岩美郡の男女の肝臓が142.9と229.7、気高郡の男の結腸が203.5、八頭郡の男女の肝臓は205.8と154.7、女の肺が143.9、子宮が145.9、東伯郡の女の子宮が139.1、日野郡の男の結腸が229.0、女の胃が185.4の明らかに高い死亡比を示した (表2, 3, 4)。

図6-1 地域別・年齢調整罹患率(全部位) 人口10万対

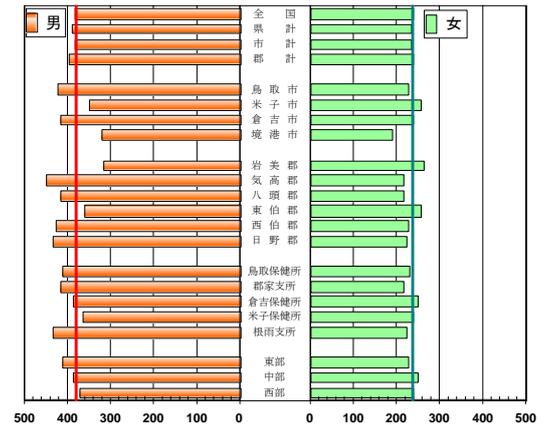


図6-2 地域別・年齢調整罹患率(胃) 人口10万対

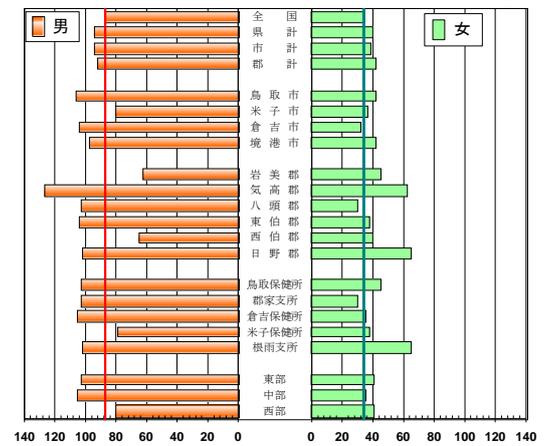


図6-4 地域別・年齢調整罹患率(肝臓)人口10万対

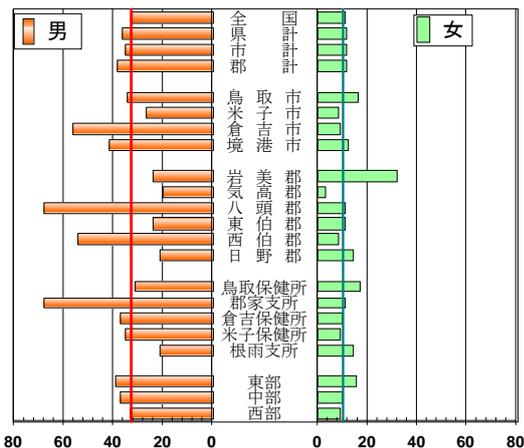


図6-4 地域別・年齢調整罹患率(肝臓) 人口10万対

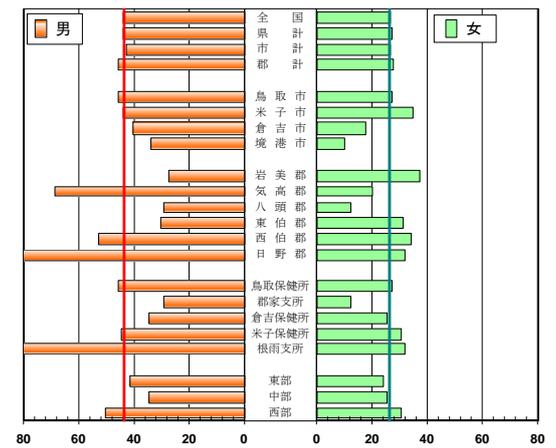


表2 鳥取県における地域別標準化罹患比 (SIR) の比較 全国=100

		全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
男	東部	106.8	113.8	95.8	82.3	120.0	113.8	—	—
	中部	99.1	109.8	77.7	69.6	109.8	109.8	—	—
	西部	98.5	90.1	118.5	61.0	105.6	90.1	—	—
女	東部	98.4	114.9	97.2	95.1	137.4	94.4	72.4	87.7
	中部	97.8	99.0	90.7	95.3	75.0	102.4	106.6	171.0
	西部	96.2	108.6	104.5	75.7	80.9	135.3	68.3	102.5

表3 平成13年・地域別標準化罹患比(全国値=100)

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	101.8	97.4	103.4	109.0	101.3	98.8	71.1	87.2	112.0	101.3	103.4	112.7	77.5	110.1
市計	100.3	97.6	104.7	106.4	98.5	100.8	75.9	93.2	110.3	106.3	104.7	114.6	77.1	114.4
郡計	103.7	97.0	101.8	112.4	104.7	96.3	64.8	79.6	114.2	95.4	101.8	110.5	78.1	103.8
鳥取市	111.8	98.1	119.7	120.3	104.4	114.2	93.0	95.8	105.5	139.3	119.7	81.6	72.8	96.1
米子市	93.2	102.9	92.1	101.0	104.8	127.1	46.8	108.1	85.7	84.8	92.1	135.5	81.4	117.4
倉吉市	101.1	91.6	102.1	86.9	83.6	54.7	116.9	65.6	163.1	75.8	102.1	118.8	94.7	151.0
境港市	83.6	86.2	99.4	105.3	77.2	30.5	59.9	71.6	138.5	113.8	99.4	148.7	52.6	122.1
岩美郡	80.5	114.7	74.6	125.1	57.1	118.2	61.0	189.1	93.5	259.6	74.6	114.3	72.9	24.4
気高郡	117.5	84.9	139.4	146.0	157.0	84.8	86.8	34.1	82.8	31.0	139.4	61.2	95.6	110.2
八頭郡	103.4	97.1	108.1	84.6	68.3	56.2	66.4	75.5	180.2	122.5	108.1	126.6	60.8	86.9
東伯郡	97.8	102.3	115.2	107.6	73.7	116.1	36.8	116.4	73.1	74.5	115.2	90.7	115.4	185.8
西伯郡	111.3	90.3	77.7	93.0	117.3	117.0	104.8	44.4	153.1	68.0	77.7	124.3	58.8	35.8
日野郡	114.0	90.4	94.2	176.6	229.5	73.4	38.2	0.0	57.4	52.5	94.2	140.7	40.3	139.0
鳥取保健所	107.9	98.8	115.7	124.8	104.8	110.6	87.4	101.4	100.5	142.4	115.7	83.7	75.7	87.9
郡家支所	103.4	97.1	108.1	84.6	68.3	56.2	66.4	75.5	180.2	122.5	108.1	126.6	60.8	86.9
倉吉保健所	99.1	97.8	109.8	99.0	77.7	90.7	69.6	95.3	109.8	75.0	109.8	102.4	106.6	171.0
米子保健所	96.4	96.9	89.5	99.6	103.6	108.7	63.9	85.5	111.9	84.9	89.5	134.6	71.3	98.8
根雨支所	114.0	90.4	94.2	176.6	229.5	73.4	38.2	0.0	57.4	52.5	94.2	140.7	40.3	139.0
東部	106.8	98.4	113.8	114.9	95.8	97.2	82.3	95.1	120.0	137.4	113.8	94.4	72.4	87.7
中部	99.1	97.8	109.8	99.0	77.7	90.7	69.6	95.3	109.8	75.0	109.8	102.4	106.6	171.0
西部	98.5	96.2	90.1	108.6	118.5	104.5	61.0	75.7	105.6	80.9	90.1	135.3	68.3	102.5

表4 平成13年・地域別標準化死亡比(全国値=100)

	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	101.1	95.3	95.2	102.5	103.2	101.8	97.9	105.9	117.4	87.0	95.4	102.4	62.0	110.0
鳥取市	112.8	103.4	119.9	140.4	96.5	106.5	123.2	87.5	91.0	91.5	127.1	95.9	71.1	96.1
米子市	99.0	89.1	92.9	80.5	116.6	117.9	78.2	120.8	113.1	67.0	87.8	94.0	62.3	111.2
倉吉市	109.3	100.4	110.7	144.8	84.2	105.2	251.0	162.5	159.4	51.8	77.6	96.5	92.2	116.6
境港市	99.2	105.3	98.0	80.1	76.5	23.4	40.7	185.1	147.9	131.2	54.9	148.8	64.7	229.5
岩美郡	87.4	115.2	63.0	160.8	32.7	87.7	53.8	-	142.9	229.7	129.0	93.1	44.8	-
気高郡	112.3	94.3	104.9	85.9	203.5	124.7	-	169.2	94.8	105.6	82.5	49.7	49.8	82.0
八頭郡	106.6	111.6	68.3	76.9	88.3	83.6	74.1	112.6	205.8	154.7	107.1	143.9	44.2	145.9
東伯郡	82.1	83.3	101.6	80.5	68.5	95.6	57.5	115.2	83.8	72.5	87.2	93.4	83.8	139.1
西伯郡	97.7	81.9	64.0	37.3	105.5	121.6	125.0	73.2	125.6	30.9	78.2	118.9	42.3	106.0
日野郡	94.9	75.9	88.6	185.4	229.0	106.6	97.8	-	32.4	29.7	85.8	84.9	-	-
鳥取保健所	108.9	103.9	109.2	135.5	102.3	106.1	95.6	85.6	99.2	115.6	120.8	88.6	64.5	79.5
郡家支所	106.6	111.6	68.3	76.9	88.3	83.6	74.1	112.6	205.8	154.7	107.1	143.9	44.2	145.9
倉吉保健所	93.1	90.3	105.3	107.1	74.8	99.5	136.2	134.6	114.5	63.9	83.4	94.6	87.3	129.6
米子保健所	98.7	89.8	86.0	68.6	107.3	103.9	84.3	118.2	121.9	67.4	80.0	109.5	57.7	128.6
根雨支所	94.9	75.9	88.6	185.4	229.0	106.6	97.8	-	32.4	29.7	85.8	84.9	-	-

5. 年齢階級別がん罹患率

全体的に年齢とともに増加するがんの罹患傾向がみられるが、乳房は40歳代でピークを示し、50歳代以降は僅かに減少し横這い状態を示した。子宮は40-50歳代でピークを示し、60歳代以降は僅かに減少し横這い状態を辿った。(図7-1～図7-6)。

年齢階級別の罹患構成比を1979-83年までと1996-01年までの2つの期間に分けて比較すると、60歳以上の高齢者階級における罹患割合の増加が著しいが、子宮では39歳未満での増加が顕著であった(図8)。

図7-1 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

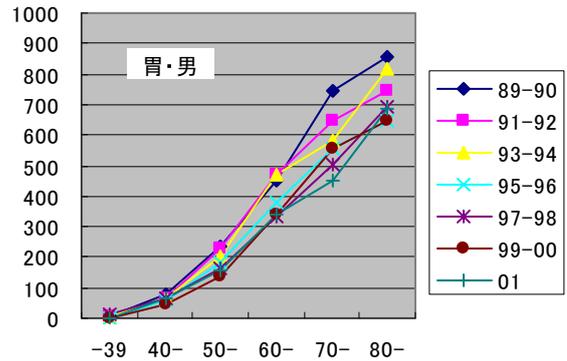


図7-2 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

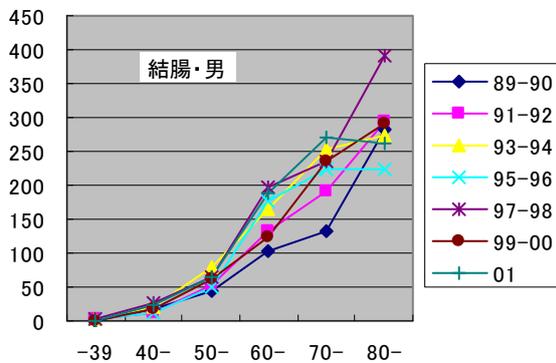


図7-3 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

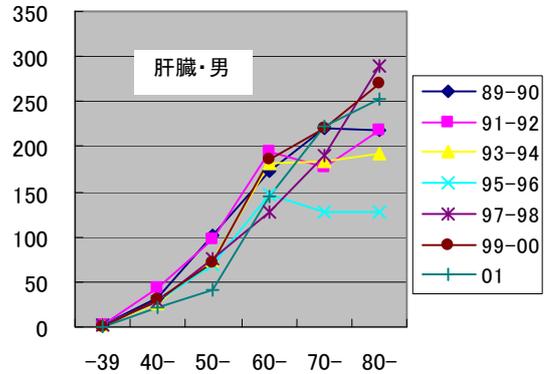


図7-4 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

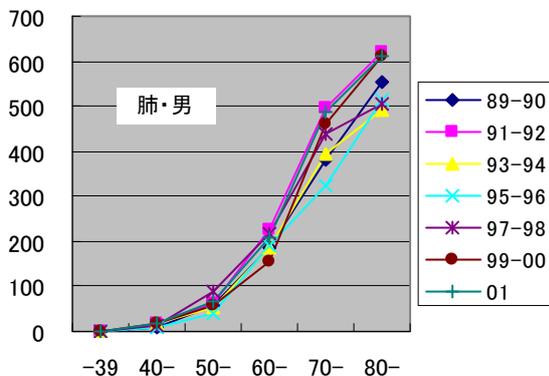


図7-5 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

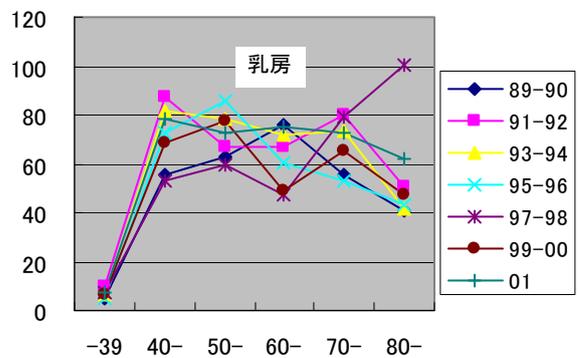


図7-6 年齢10歳階級別がん罹患率の推移

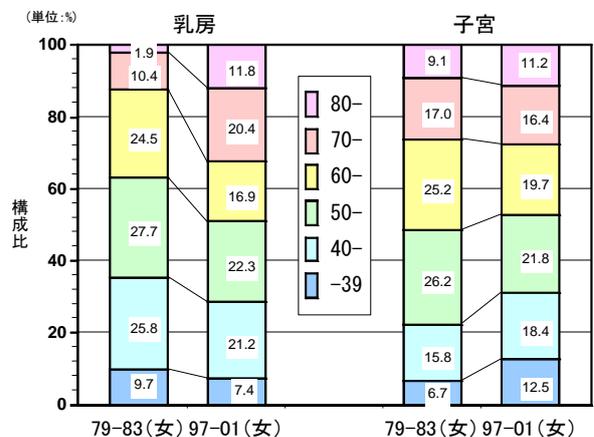
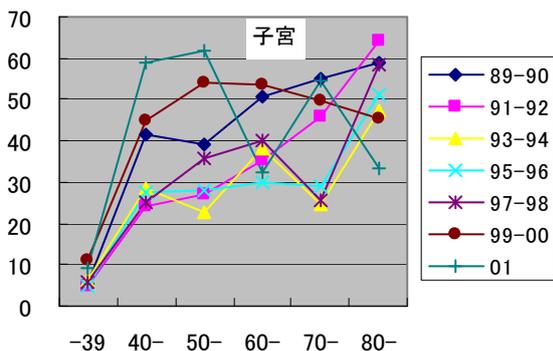


図8 年齢階級別罹患構成比の年次比較

6. がんの受療状況

a) 受診動機別集計

2004年1月から12月の受診動機について集計した結果、有訴受診が最も多く、全部位で34.2%、紹介前医療機関の有訴受診の割合43.4%を考慮すると約40%の有訴受診となった。次いで、健康診断、各種がん検診の順となった。同様に紹介前医療機関を考慮すると部位別には、乳房の有訴受診が最も高く77%で、肝臓のそれは最低の約30%であった(表5-1、表5-2)。

表5-1 部位別・受診動機別集計結果(%)

2004.01.01-2004.12.31までの届出対象

ICD9	有訴受診	健康診断	各種がん検診	紹介	その他	無記入	計
全部位	34.2	8.1	5.2	36.0	7.7	8.9	100.0
胃	29.7	13.4	6.8	33.3	8.9	7.9	100.0
結腸	36.4	12.7	6.7	29.4	8.2	6.7	100.0
直腸	40.6	4.2	6.7	31.5	6.7	10.3	100.0
肝臓	22.3	2.8	2.2	43.0	21.2	8.4	100.0
肺	21.6	8.5	6.8	39.3	10.4	13.4	100.0
乳房	65.8	2.6	6.3	16.3	3.2	5.8	100.0
子宮	21.5	4.0	8.1	57.0	1.3	8.1	100.0

b) 受療集計

治療方法では全国に比べて鳥取県の手術実施割合は高い。部位別にみて全国に比べ鳥取県が高い部位は、以下の通りであった(表6)。

(1) 手術割合 : 全部位、胃、結腸、直腸、肝臓、子宮、肺

(2) 放射線治療 : 直腸、肝臓、肺、乳房、子宮
鳥取県における化学療法の実施割合は、高い方から乳房、肺、直腸、子宮の順となった。

表5-2 紹介前医療機関受診動機別集計結果(%)

2004.01.01-2004.12.31までの届出対象

ICD9	有訴受診	健康診断	各種がん検診	紹介	その他	無記入	計
全部位	43.4	7.6	9.0	11.0	9.0	20.0	100.0
胃	40.6	9.4	15.6	6.3	6.3	21.9	100.0
肝臓	18.2	0.0	0.0	18.2	45.5	18.2	100.0
乳房	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0

表6 部位別・治療方法別患者割合(%) - 2001年 -

部位	手術		放射線治療		化学療法
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	71.5	59.1	10.7	9.8	23.0
胃	81.1	71.2	0.0	0.6	16.3
結腸	92.2	78.1	0.3	0.6	15.5
直腸	96.3	81.1	2.8	2.1	34.6
肝臓	40.2	19.2	4.9	2.1	12.7
肺	43.0	33.6	22.8	21.9	35.1
乳房	82.0	87.2	27.1	18.8	36.1
子宮	80.2	68.2	22.4	18.2	21.1

7. がん患者の医療機関からの届出状況

平成16年のがん患者診断票届出総数は3,695件で前年に比較し635件の増加であった。地域別では東部で1,867件、中部で476件、西部で1,352件で、東部西部の増加が顕著であった。

主要病院の届出件数の年次推移から、全体的に増加傾向にあるが、東部では鳥取市立病院、鳥取赤十字病院西部では博愛病院と米子医療センターの届出が前年に比し増加した。しかし、山陰労災病院、鳥取県立厚生病院の届出件数は減少傾向に転じた。他方、日野病院は0件であった。

大学病院、主要病院およびその他病院・診療所に3区分し、1979年から26年間の年次推移を見ると、主要病院がほぼ安定した届出でしかも近年増加傾向あるのに対して、1989年以降の大学病院の届出の減少・低迷傾向が懸念されたが、2003年より350件以上に増加し横這い状態にある(表7)。

表7 主要医療機関・地域別届出件数の年次推移(1992年-2004年)

	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
主要病院	1,469	1,360	1,599	1,167	1,329	1,696	1,273	1,385	1,339	1,505	1,786	2,226	2,751
大学病院	361	242	261	305	357	215	245	266	233	286	208	375	355
その他病院・診療所	688	591	621	646	669	493	562	602	440	525	534	459	589
東部	1,023	933	1,024	764	827	927	780	834	720	965	1,104	1,576	1,867
中部	417	339	547	481	486	451	476	462	379	414	523	436	476
西部	1,078	921	908	871	1,039	1,020	822	947	910	936	896	1,046	1,352
県全体	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355	2,404	2,080	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695
HV/I(%)	鳥取県	53.7	55.7	54.4	47.6	48.6	47.5	46.3	48.3	51.0	54.7	-	-
	全国	62.0	62.6	63.1	63.0	66.0	66.9	66.9	67.9	67.9	-	-	-
DCN/I(%)	鳥取県	24.5	28.9	27.5	28.2	24.8	31.9	36.5	36.2	36.3	32.9	-	-
	全国	23.9	23.3	23.4	24.2	30.3	29.6	28.2	27.6	26.8	-	-	-

主要病院: 県中、市立、赤十字、岩美、智頭、厚生、国立、労災、博愛、済生会、西伯、日南、日野

8. 鳥取県における登録精度

a) がん登録精度の年次推移からみた全国との比較

届出精度としてのDCNと診断精度としての罹患数における組織診実施割合（HV/I%）の2つの指標について年次推移を示す。HV/I%は平成2年以降全国値を下回っている。

DCNは、過去全国平均より低値で良好であったが、1997年から4年間は届出件数の減少によりDCNは全国平均を上回って高値となり登録精度の低下傾向が見られた。しかし、届出精度の改善により2001年の標準集計では前年より4%減少の32.9%となり、顕著な改善傾向が見られた（表8）。

なお、DCNは死亡票ではじめて登録される患者数の割合（%）を示す。がん登録研究班では、DCNは30%未満、I/D比は1.5以上の登録精度を要求している。

b) 部位別にみたDCNの比較

鳥取県における部位別DCNの年次推移を見ると、男女とも肝臓、胆嚢、膵臓、肺およびリンパ組織で女で卵巣で高いDCNを示し、40~60%の間を増減推移している。造血器組織は、男で63.3%、女で86.7%と最も高い。その他の部位についても同様の傾向が見られたが、いずれもDCNは30%未満で良好であり、男の結腸、胃は20%前後、女の乳房、子宮は20%以下を示した（表9）。

平成13年の地域別・部位別DCNにおいて、県全体では肝臓が最も高く57.7%、次いで肺の47.5%、全部位の32.9%が30%以上であった。

この傾向は、市計、郡計および東・中・西部でも同様であった。一方、肝臓、肺ではほとんどの地域で40~70%となっているが、先行研究でDCNが高くては罹患率に与える影響は少ないとされるので、これらの部位についても一応市郡別比較に耐え得るものと思われる（表10）。

表8 鳥取県および全国における登録精度の年次推移

	DCN/I(%)		I/D比		HV/I(%)	
	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1	鳥取県	全国*1
1983	31.7	33.0	1.5	1.4	35.4	48.8
1984	36.7	36.9	1.6	1.5	34.6	48.4
1987	27.9	29.7	1.7	1.5	52.5	53.7
1989	21.5	29.8	1.8	1.5	56.1	54.1
1990	28.0	23.7	1.8	1.6	47.8	61.1
1992	24.5	23.9	1.9	1.6	53.7	62.0
1995	28.2	24.2	1.7	1.6	47.6	63.0
1996	24.8	30.3	1.7	1.6	48.6	66.0
1997	31.9	29.6	1.8	1.6	47.5	66.9
1998	36.5	28.2	1.7	1.7	46.3	66.9
1999	36.2	27.6	1.8	1.7	48.3	67.9
2000	36.3	26.8	1.8	1.7	51.0	67.9
2001	32.9		1.8		54.7	

*1:年度により採用府県市の件数が変動

DCN/I(%)：罹患数中死亡票ではじめて登録された者の割合

I/D比：罹患数の死亡数に対する比

HV/I(%)：罹患数中の組織診実施割合

表9 鳥取県における部位別登録精度の年次推移

性別	1979	1984	1990	1996	2001	性別	1979	1984	1990	1996	2001
男性						女性					
全部位	36.8	35.8	30.4	25.0	32.3	全部位	35.3	34.4	24.8	24.5	33.7
食道	57.1	34.3	27.8	18.0	25.6	食道	33.3	62.5	25.0	40.0	25.0
胃	31.6	35.2	18.5	14.1	18.0	胃	37.3	35.6	18.2	18.0	25.9
結腸	23.3	16.7	22.0	12.9	18.2	結腸	24.2	39.6	23.2	12.0	22.2
直腸	28.6	32.7	14.9	23.1	25.0	直腸	31.6	20.7	10.2	11.5	24.2
肝臓	55.6	24.6	42.6	28.6	56.7	肝臓	61.8	45.5	37.3	34.2	59.7
胆嚢	71.4	47.0	45.7	42.6	52.8	胆嚢	65.2	41.9	39.6	60.0	63.8
膵臓	65.5	58.8	36.1	29.6	54.9	膵臓	57.6	60.0	40.0	40.5	57.9
肺	43.2	41.3	40.9	48.2	44.9	肺	51.1	49.2	42.1	37.0	53.4
前立腺	38.1	45.5	45.3	15.1	25.0	乳房	18.2	16.1	9.7	9.3	9.5
膀胱	22.7	28.1	24.4	13.0	27.7	子宮	32.9	16.9	15.6	25.4	13.3
腎臓	45.5	54.5	61.9	20.0	33.3	卵巣	47.1	34.6	25.0	50.0	31.9
甲状腺	20.0	0.0	0.0	14.3	50.0	膀胱	14.3	29.4	28.6	23.1	23.1
リンパ組織	44.4	28.6	53.7	61.2	58.5	リンパ組織	25.0	33.3	52.0	42.9	69.4
造血器組織	41.2	0.0	76.2	53.8	63.3	造血器組織	47.1	0.0	40.0	70.0	86.7
						腎臓	25.0	16.7	53.3	36.4	27.3
						甲状腺	0.0	15.4	10.5	3.0	21.4

表10 平成13年 地域別・部位別DCN(%)

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
総計	32.9%	20.8%	20.0%	24.6%	57.7%	47.5%	10.1%	13.3%
市計	34.0%	22.8%	19.2%	25.9%	59.0%	50.0%	15.1%	13.8%
郡計	31.6%	18.5%	21.1%	22.8%	56.1%	44.5%	3.2%	12.5%
鳥取市	32.7%	22.7%	18.3%	25.0%	47.2%	54.9%	12.9%	9.5%
米子市	32.3%	19.3%	21.8%	22.2%	69.2%	43.6%	17.6%	12.0%
倉吉市	33.3%	30.0%	9.1%	33.3%	60.0%	50.0%	13.3%	16.7%
境港市	47.7%	25.0%	25.0%	28.6%	70.6%	57.9%	16.7%	28.6%
岩美郡	32.1%	12.0%	14.3%	0.0%	53.3%	52.4%	14.3%	0.0%
気高郡	32.3%	19.4%	21.1%	0.0%	50.0%	57.1%	0.0%	0.0%
八頭郡	39.0%	13.8%	18.2%	41.7%	58.8%	56.3%	0.0%	28.6%
東伯郡	26.0%	22.6%	19.0%	26.7%	65.0%	36.5%	4.0%	15.0%
西伯郡	30.8%	14.6%	19.5%	28.6%	53.8%	40.0%	0.0%	0.0%
日野郡	31.4%	25.0%	32.1%	0.0%	33.3%	32.0%	0.0%	0.0%
鳥取保健所	32.6%	20.9%	18.3%	18.0%	48.6%	54.8%	11.1%	7.7%
郡家支所	42.5%	42.5%	42.5%	42.5%	42.5%	42.5%	42.5%	42.5%
倉吉保健所	29.0%	25.4%	15.6%	30.0%	62.2%	41.5%	7.5%	15.6%
米子保健所	34.0%	19.2%	21.4%	25.0%	64.6%	44.4%	14.0%	14.3%
根雨支所	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%	36.9%
東部	34.1%	19.3%	18.2%	22.6%	51.9%	55.2%	9.1%	12.1%
中部	29.0%	25.4%	15.6%	30.0%	62.2%	41.5%	7.5%	15.6%
西部	33.7%	20.1%	23.2%	24.0%	62.5%	42.7%	13.2%	12.5%

新しい鳥取県がん登録実施要綱ほぼ決まる

がん登録対策専門委員会小委員会

- 日時 平成 17 年 4 月 28 日(木) 午後 2 時～午後 4 時
- 場所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町

協議事項

1. 鳥取県がん登録実施要綱の改正:

岡山県健康対策課生活習慣病担当主幹より説明

がん登録事業実施に係る根拠規定については、「成人病登録実施要綱」があるが、制定から 20 年以上が経過し現状との齟齬が目立つほか、今日の法的要請にこたえる内容とは言い難いことから、同要綱は廃止して新たに現状に即した要綱を制定することとし、「鳥取県がん登録実施要綱」が別紙のとおり承認された。新要綱には、登録対象、登録事項、登録の手順、解析・評価、情報提供が明記された。

がん登録事業で収集される個人情報について、疫学研究等での利用を目的とする第三者に提供するには、「鳥取県個人情報保護事務取扱要領」に定める個人情報提供申請書のほか、第三者が所属する機関で承認を得た倫理申請書またはこれに準ずる書類を県に提出することとなった。

また、基本健診・がん検診の個別データとリンクさせてがん罹患リスクの解析、がん検診の評価解析実施については、鳥取県個人情報保護審議会の承認後、追加規定する。

2. 鳥取県がん登録届出票の改正:

岡本鳥大医学部環境予防医学教室講師より説明

平成 16 年度開催された「がん登録対策専門委員会」において、届出票の受診動機の分類項目、組織診断・細胞診については当然実施すべき重要項目であるから、別枠で掲載した方が良いのでは、

診断方法に関する項目についても近年の医療技術の動向を踏まえて、分類項目を適宜、追加訂正していく必要がある等の提案があり、届出票の見直し検討委員を選出して検討をおこなった。

その結果、様式 1 号「届出票」、様式 2 号「問合せ票」、様式 3 号「補充票」、様式 4 号「追跡票」が示された。返信封筒の期限に合わせて、平成 17 年 6 月より新様式を使用することとなった。

また、がん登録データを活用して、健対協が更なる調査研究を行う場合は、独自の調査票を作成して行ってはどうかという意見があった。

2. 鳥取県がん登録届出記入要領の改正:

岡本鳥大医学部環境予防医学教室講師より説明
届出票の改正に伴い、記入要領の改正を行う。

特に、届出票の提出は、以下の 2 点に絞ってお願いすることとなった。

(1) 貴院における治療終了時

入院患者：新発生のがんに対する一連の治療が終了した時、または退院時

外来患者：(1) 外来治療終了時、(2) 検査・治療のために他院に紹介した時

(2) 多重がんの診断時(各々の部位について別々に届出票を作成)

また、貴院で既に新発生のがんの届出をした者の再発例および追加治療の届出は不要。

登録精度改善傾向

平成 17 年度がん登録対策専門委員会記録

■ 日時 平成 17 年 7 月 28 日 (木) 午後 4 時 ~ 午後 5 時 30 分

■ 場所 鳥取県健康会館 鳥取市戎町

■ 出席者 15 人

岸本委員長

岡本公男・宮崎・岩垣・古城・山下・石飛・細田・平木・

能勢・尾崎・岡本幹三各委員

県健康対策課:加山主幹、松本主任

健対協事務局:田中主事

報告

平成 14 年度がん登録事業報告:岡本幹三委員

1) 鳥取県における平成 13 年がん罹患・受療状況標準

集計結果

a) 罹患集計

- (1) 罹患数
- (2) 年齢調整罹患率
- (3) 年齢調整罹患率の年次推移(1988-2001 年)
- (4) 地域別標準化罹患比(全国=100)
- (5) 年齢階級別罹患率

b) 受診動機別集計

c) 受療集計

- (1) 手術割合
- (2) 放射線治療

d) がん患者の医療機関からの届出状況

e) 登録精度

- (1) DCN
- (2) 組織診断実施割合

2) 平成 16 年度鳥取県がん登録事業報告書を作成し、関係諸機関に配布した。

3) 登録精度の向上のための届出勧奨および補充届出票の送付ならびに届出実態調査

4) 鳥取県がん登録実施要綱の見直し

5) 第 13 回全国がん登録協議会総会研究会への参加

6) 厚生労働省がん登録研究班(津熊班)への参画

7) 第 3 次対がん総合戦略研究班(祖父江班)への参画

協議

1) 平成 17 年度事業計画について、以下のとおり岡本幹三委員より説明があり、承認された。

- (1) 平成 14 年がん罹患・受療状況標準集計
- (2) がん検診の精度評価

がん登録とリンク(記録照合)することによって、各種がん検診の精度評価は可能となる。がん検診受診者データ全ての活用が可能となれば、がん検診システムの精度指標(敏感度、特異度など)をがん登録事業の一環として逐次算出し、各種がん検診対策専門委員会に還元することはできる。しかし、昨今の個人情報保護とのからみもあり、

現状では全検診受診データの活用に向けて、鳥取県がん登録実施要綱の改正に基づいて鳥取県個人情報審議会への諮問を計画している。

(3) 登録精度の向上のための届出勧奨、補充届出票による遡り調査、各種検診発見がんからの登録

昨年度より登録精度は改善（DCN の値が 36% から 32.9% に減少）傾向があるが、引き続き登録精度の向上をめざして、大学病院及び主要病院を対象にした届出勧奨を進める。また、補充届出票による遡り調査（平成 15 年死亡分）と各種検診発見がんの未登録分の登録も行う。

(4) 第 3 次対がん総合戦略研究班（祖父江班）への参画

今年は 2 年目となる。がん罹患・死亡動向の実態把握のため、1993 年～2001 年までの罹患データの収集を行い、全国がん罹患モニタリング集計（全国がん罹患率の推定）を行う。

(5) 第 14 回地域がん登録全国協議会総会研究会への参加

9 月 2 日（金）、3 日（土）に国立がんセンター内国際交流会館 3 階会議場において開催される。

(6) 平成 17 年度厚生省がん登録研究班（津熊班）への参画

(7) 平成 17 年度鳥取県がん登録事業報告書の作成

(8) 「鳥取県がん登録実施要綱」が改正されたことに伴い、個人情報保護を踏まえたがん登録資料の提供と届出勧奨について、各検診従事者講習会において岡本幹三委員に説明して頂くこととする。

2) 個人情報保護基本方針について

本年 4 月 1 日から「個人情報保護法」が全面施行されたことに伴い、鳥取県健康対策協議会においても「個人情報保護方針」並びに「規程」を作成するかどうか、6 月 2 日に開催された鳥取県健康対策協議会理事会において、問題提起があり、岸本委員長にご検討して頂くこととなった。

よって、今回、岸本委員長より「個人情報保護方針（案）」並びに「規程（案）」が示された。大筋では承認されたが、一部整理する箇所があるので、岸本委員長に最終案を作成して頂き、各委員に配布してご意見を頂くこととなった。8 月 25 日の総合部会においても、議題として上げ、最終的には理事会において承認を頂くこととする。

なお、基本方針（案）、規程（案）の承認を待つて、本会の役員、専門委員、読影委員、職員等と誓約書の取り交わしを行う。

3) 鳥取県がん登録実施要綱の改正に基づく鳥取県がん登録実務説明書の改編

昭和 52 年以降、登録内容や登録システムの変更があったにも拘わらず、説明書の改訂は実施されていない。また、昨今の個人情報保護法の全面施行によるがん登録の患者情報の取扱いについても、十分議論されていない。

こうした状況を鑑み、今後 1 年間をかけて、鳥取県がん登録実務説明書の改編に取り組む。岸本委員長、尾崎委員、岡本幹三委員で原案を作成し、各委員による持ち回り協議で検討する。

地域がん登録の精度向上に向けた 地域がん登録と院内がん登録の連携

第 14 回地域がん登録全国協議会総会研究会報告

健対協・がん登録対策専門委員会委員 岡本幹三

「地域がん登録の精度向上と標準化」をメインテーマとする第 14 回地域がん登録全国協議会総会研究会および実務者研修会が 9 月 2 日（金）と 3 日（土）の両日に亘って国立がんセンターで開催され、関係者が約 300 名参加した。

◇特別講演1 「がん登録データの質を保証するための基準」

Dr. Max D. Parkin (国際がん登録協会 理事長)

がん登録における品質管理には、完全性、妥当性（正確さ）、即時性の 3 つの側面がある。完全性とは、がん登録が対象とする集団で発生したすべてのがんのうち、どれだけ実際に登録されたか、というその割合（登録率）である。妥当性は、診断の正確さで、組織学的判明度と死亡票のみで登録される割合が問題となるが、国際比較では 23% を超える国はない。いずれにせよ、罹患と生存を妥当的な方法で比較するためには、品質管理は必要不可欠である。という話であったが、日本では極一部の府県市で満足する値を示している外は、品質管理以前の問題で汲々としている状況で、「地域がん登録の精度向上と標準化」をめざした対がん活動を鼓舞する講演であった。

◇特別講演2 「韓国におけるがん登録ネットワークとがん統計」

H. R. シン

(韓国国立がんセンター がん対策評価研究所)

1980 年代以降、韓国でもがん死亡は死因第 1 位であり、がん登録は韓国におけるがんリスクの評価とコントロールのために不可欠である。現状に呼応するため韓国ではがん登録システムのネットワークが、韓国中央がん登録（病院ベース）、

地域がん登録（住民ベース）、臓器別がん登録（腫瘍専門医）を統合する形で構築された。韓国中央がん登録 (KCCR) における病院ベースのがん登録カバー率はがん症例の 90%、地域がん登録

(PB-RCR) は、KCCR に不参加の病院のがん患者情報を収集、両方の情報を統合して韓国全体のがん罹患のデータベースが構築された。その後、さらに診療録追加調査、および韓国国立統計局のがん死亡データベースを統合して韓国全国がん罹患データベース (KNCIDB) を設立した。その結果、登録の完全性はカバー率で 98% (登録症例数 / 全期待症例数)、死亡票から初めて登録される割合は 10% 前後を確保している。また、2005 年 4 月にこの KNCIDB を用いた 1999 年～2001 年の韓国全国がん罹患集計が初の試みとして実施された。その成果は、韓国のがんコントロールプログラムの開発の基盤として十分に信頼できるものであることが実証された。

圧巻だったのは、韓国では 13 桁（生年月日－性別－出生地－登録番号－ランダム番号）の韓国個人同定番号（1 個人 1 PIN）が付与され、医療保険 DB、死亡診断書 DB、コホート DB および韓国がん登録 DB とのレコード・リンケージが可能で、妥当で、正確な罹患、死亡、有病および生存状況の確認ができることである。しかも韓国のがん登録の法的基盤と機密保持に関しては、2003 年に Cancer Act が制定され、届出義務が明記され、2004 年には個人情報保護の義務と統計法に基づく法改正が検討されている。ということで、特別講演 1 もさることながら、日本のがん登録に法的基盤がないこと、がん登録の標準化と標準データベースシステムの構築の遅延がまざまざと突きつけられた講演であった。

◇教育講演「地域がん登録における機密保持ガイドライン」

大島 明(大阪府立成人病センター 調査部)

ガイドライン作成に当たっての経緯と目的について詳細な説明があった。その中で、本ガイドラインをがん登録室における機密データの扱いについて国民の前に明らかにし、地域がん登録に対する国民の理解を深めるのに役立てることが強調された。

◇シンポジウム「地域がん登録と院内がん登録の連携」

最初に、大阪府立成人病センターの津熊秀明先生から、大阪府におけるこれまでの取組から、今後の連携のあり方として、先ず地域がん登録と院内がん登録とが協議する場を設置して、院内がん登録の推進とともに、がん診療の実態・成果を協同解析して、がん診療のモニタリング、がん診療体制の構築に向けた、様々な工夫と努力が必要であることが提案された。

次いで、宮城県立がんセンター研究所疫学部の西野善一先生から、がん罹患情報の収集方法として各医療機関へ出張し、診療情報を閲覧の上、必要な情報を調査票に転記する出張採録を実施している。カバー率は約7割であるが、今後、各施設において院内がん登録が実施されれば、地域がん登録側の労力の軽減と精度向上にもつながる。という指摘があった。

大津赤十字病院の呼吸器科部の西本寛先生からは、院内がん登録業務は、診療情報管理業務の一部で、地域がん登録においてもその提出に診療情報管理業務が関わっている。がん登録には、情報の発生源である医師、登録者、中央登録室の3者が関与することになるが、診療情報管理の立場からいうと、管理システムの問題と発生源(医師)の問題ががん登録の精度を規程することになるといえる。診療情報管理業務の中でもがん登録は、他の業務に比べてより高い専門性が要求されるので、少なくとも拠点病院には、腫瘍登録士という専門性をもった診療情報管理業務を遂行でき

る人材を配置して、院内がん登録の精度を向上させることが重要である。という指摘があった。

最後に、群馬県立がんセンター麻酔科の猿木信裕先生から、群馬県の取組の実際について、その経緯と現状紹介があった。群馬県地域がん登録は1994年から始まったが、登録率は40%と非常に悪く、登録精度の向上が課題であった。2005年7月「群馬県地域がん登録連絡協議会」が正式に発足、群馬大学と群馬県が実施主体となり、群馬大学、がん診療拠点病院、地域の中核病院、医師会、診療情報管理士のネットワークを構築することが了承された。群馬県地域がん登録の精度向上に向けての取組は始まったばかりである。という紹介があった。

鳥取県における地域がん登録は、県内医療機関からの毎月の自主的な届出でカバーされている。中でも主要病院における院内がん登録からの詳細情報の収集によるところは大きい。しかしながら、院内がん登録は13施設で実施されているという調査報告があるが、がん登録推進組織の設置は4施設しかなく、院内の協力体制は不十分であるといわれている。その理由として、がん登録に対する個々の医師の認識不足と理解不足が考えられるので、今後講習会等の機会を通じてがん登録の存在意義を啓発していくことが必要であると感じた。

◇実務者研修会

「地域がん登録の標準化と精度向上」をめざした、厚生労働省第3次対がん総合戦略研究事業に参画する祖父江班(がん罹患・死亡動向の実態把握に関する研究班)の活動を中心とした話題提供について研修が行われた。

1993-96年罹患者生存率協同調査結果

5年相対生存率

—特定部位別、詳細部位別、進行度別—

厚生労働省がん研究助成金

「地域がん登録の精度向上と活用に関する研究」

平成16年度報告書より抜粋

要 約

本協同調査の課題は、地域がん登録に基づくがん患者の生存率を標準方式に則り地域別に算出するとともに、生存率の全国値を推計することである。本年度は、研究班参加13登録中、10登録（宮城、山形、新潟、千葉、神奈川、福井、愛知、大阪、鳥取、長崎）が、1993-96年診断患者の5年後の予後付データを研究班協同調査事務局に提出した（37.3万件）。協同事務局で所定のデータクリーニングを実施した後、5年相対生存率を標準方式に準拠して算出した。13登録中、登録精度が一定水準を満たし、信頼できる予後把握の精度を達成したのは7登録であった。これら7登録（27.9万件）のデータをプールして算出した5年相対生存率を全国値とした。全国の全がん5年相対生存率は53.6%（男49.2%、女59.4%）；胃、大腸、前立腺、腎で62%～68%；乳房、子宮、喉頭、皮膚、精巣、膀胱、甲状腺で74%～92%；肝臓、胆嚢・胆管、膵、肺で6%～23%と算定された。

表10. 選択地域における5年相対生存率

表10-1: 特定部位

—1993-96年診断—

解析対象	補充届出患者を含む						補充届出患者を除く					
	男		女		計		男		女		計	
性別 値	N	RSR	N	RSR	N	RSR	N	RSR	N	RSR	N	RSR
全部位1	121,454	46.0	87,919	55.2	209,373	49.9	111,012	50.1	80,805	59.8	191,817	54.3
全部位2	119,555	45.1	87,037	54.8	206,592	49.2	109,113	49.2	79,925	59.4	189,038	53.6
胃	32,195	59.0	16,542	57.0	48,737	58.3	30,253	62.6	15,419	60.9	45,672	62.0
大腸1	21,218	69.5	15,279	64.6	36,497	67.5	20,250	72.7	14,437	68.2	34,687	70.8
大腸2	19,319	66.2	14,397	62.4	33,716	64.6	18,351	69.5	13,557	66.0	31,908	68.0
結腸1	12,987	72.3	10,245	65.1	23,232	69.1	12,362	75.8	9,615	69.1	21,977	72.9
結腸2	11,555	68.5	9,606	62.7	21,161	65.8	10,930	72.2	8,978	66.8	19,908	69.8
直腸1	8,231	65.1	5,034	63.7	13,265	64.6	7,888	67.8	4,822	66.4	12,710	67.3
直腸2	7,764	62.9	4,791	61.8	12,555	62.5	7,421	65.6	4,579	64.6	12,000	65.2
肝臓	12,111	17.0	4,558	17.4	16,669	17.1	10,081	20.1	3,685	21.0	13,766	20.3
肺	17,671	18.3	6,645	24.1	24,316	19.9	15,467	20.7	5,756	27.6	21,223	22.6
乳房	.	.	14,673	83.1	14,673	83.1	.	.	14,391	84.6	14,391	84.6
子宮	.	.	5,732	70.5	5,732	70.5	.	.	5,419	74.3	5,419	74.3

表10-2: 詳細部位

解析対象	補充届出患者を含む						補充届出患者を除く					
	男		女		計		男		女		計	
性別 値	N	RSR	N	RSR	N	RSR	N	RSR	N	RSR	N	RSR
口腔・咽頭					3,699	50.9					3,527	53.3
食道					5,820	25.0					5,396	26.8
胆嚢・胆管					6,501	17.5					5,622	20.1
膵臓					6,393	5.5					5,301	6.5
喉頭					1,693	76.7					1,657	78.2
皮膚					2,182	87.5					2,130	89.6
卵巣					2,492	43.8					2,169	50.0
前立腺					4,681	63.4					4,348	67.6
精巣					503	90.0					502	90.1
腎など					3,958	59.2					3,637	64.0
膀胱					4,908	74.2					4,644	78.1
脳・神経系					1,438	31.4					1,217	36.6
甲状腺					3,247	90.3					3,179	92.0
リンパ腫					4,720	43.7					4,302	47.8
多発性骨髄腫					1,070	25.0					847	29.9
白血病					3,351	28.1					2,935	31.5
小児					1,284	71.8					1,257	73.4

(1) 登録精度が罹患数・率全国推計の基準を満たす、かつ、(2) 住民票照会実施で不明率が5%未満あるいは全死亡照会実施を満たす7登録（宮城、山形、新潟、福井、大阪、鳥取、長崎）

全部位1：乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む
大腸がん1：大腸の粘膜がんを含む

全部位2：乳房および子宮頸部の上皮内がんを除く
大腸がん2：大腸の粘膜がんを除く

表9-2: 進行度別5年相対生存率

進行度	限局	領域	遠隔	不明
全部位1	85.0	44.3	11.7	42.9
全部位2	84.4	44.3	11.7	42.9
胃	94.2	40.4	4.2	46.5
大腸1	96.4	61.9	10.7	59.1
大腸2	95.3	61.9	10.7	59.1
結腸1	97.6	65.6	10.5	62.0
結腸2	96.7	65.6	10.5	62.0
直腸1	94.0	56.6	11.2	54.2
直腸2	93.0	56.6	11.2	54.2
肝臓	30.3	9.1	5.0	16.0
肺	64.0	16.7	3.3	21.4
乳房	97.0	78.3	26.9	82.7
子宮	92.3	54.3	24.2	70.5

報告資料5 鳥取県医師会腫瘍調査部報告

(平成17年1月～12月)

(1) 施設別登録件数 (含重複例)

医療機関名		件数	新規登録件数
鳥取市	鳥取県立中央病院	351	298
	鳥取市立病院	635	343
	鳥取赤十字病院	431	319
	鳥取生協病院	62	52
	梅澤産婦人科医院	7	5
	岸田内科医院	8	6
	清水内科医院	13	8
	竹田内科医院 (本町)	10	9
	野口産婦人科クリニック	6	6
	野の花診療所	95	55
	葉狩皮膚科クリニック	3	3
	橋本外科医院	2	2
	松岡内科	8	8
	米本内科	7	6
林医院 (用瀬町)	5	4	
岩美郡	岩美病院	3	3
八頭郡	若桜柿坂医院	3	3
	わかさ生協診療所	10	9
	智頭病院	4	4
	長石医院	2	1
	大谷医院	1	1
	柿坂医院	1	1
東部小計		1,667	1,146
倉吉市	鳥取県立厚生病院	274	215
	野島病院	51	37
	倉吉病院	1	1
	谷口病院	104	88
	藤井政雄記念病院	16	15
	打吹公園クリニック	5	4
	せいきょう倉吉診療所	2	1
	徳岡外科医院	1	1
	松田医院	3	3
	山本内科医院	2	2

医療機関名		件 数	新規登録件数
東伯郡	中部医師会立三朝温泉病院	30	19
	細川内科胃腸科医院	6	5
	土井医院	4	3
	岡本医院（大栄町）	3	3
	宮川医院	11	7
中部小計		513	404
米子市	鳥取大学医学部附属病院	304	218
	米子医療センター	352	167
	山陰労災病院	236	196
	博愛病院	97	70
	米子中海病院	1	1
	あだち脳神経外科クリニック	1	1
	荒川耳鼻咽喉科医院	1	1
	越智内科医院	21	18
	車尾診療所	1	0
	小酒外科医院	5	5
	清水皮膚科形成外科医院	4	3
	竹田内科医院	1	1
	中村医院	8	6
	新田外科胃腸科病院	12	7
	花園内科・せぐち小児科	6	3
	旗ヶ崎内科クリニック	10	10
	本田医院	5	3
	山口外科医院	4	2
	永原医院	5	5
	脇田産婦人科医院	5	5
境港市	小林門脇外科内科医院	7	6
	倉元内科医院	1	1
	立川眼科耳鼻咽喉科診療所	2	2
西伯郡	佐々木医院（大山町）	7	4
	西伯病院	9	6
	溝口中央病院	5	4
西部小計		1,110	745
合 計		3,290	2,295

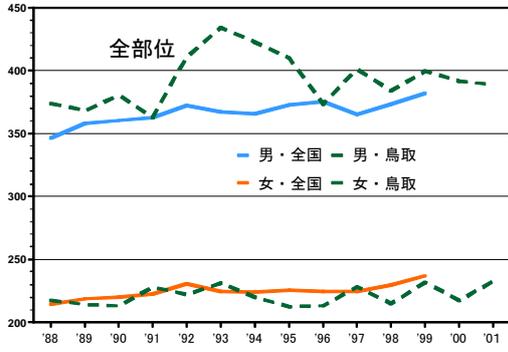
(2) 部位別登録件数 (含む重複例)

部 位	件 数	新規登録件数
口腔・咽頭癌	54	39
食道癌	97	57
胃癌	641	465
結腸癌	326	238
直腸癌	194	141
肝臓癌	244	137
胆嚢・胆管癌	75	57
膵臓癌	107	73
喉頭癌	21	13
肺癌	415	276
皮膚癌	38	34
乳癌	162	126
子宮癌	132	108
卵巣癌	62	28
前立腺癌	247	172
膀胱癌	155	98
腎臓癌	75	49
脳腫瘍	18	11
甲状腺癌	39	30
リンパ腫	63	50
骨髄腫	17	12
造血組織	19	15
その他	89	66
合 計	3,290	2,295

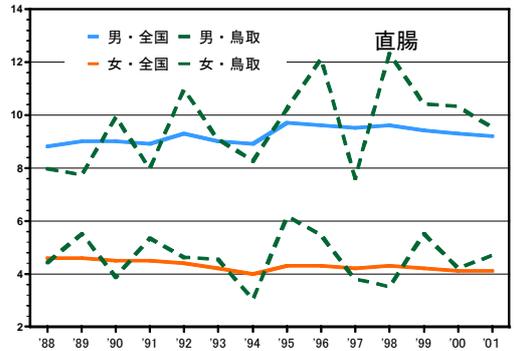
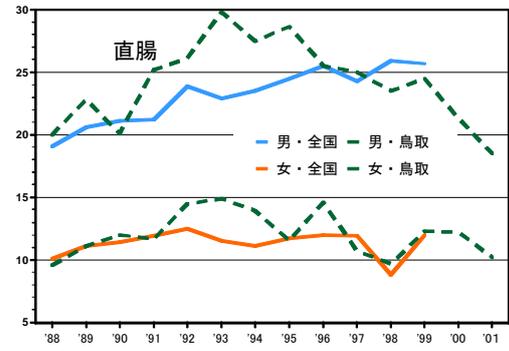
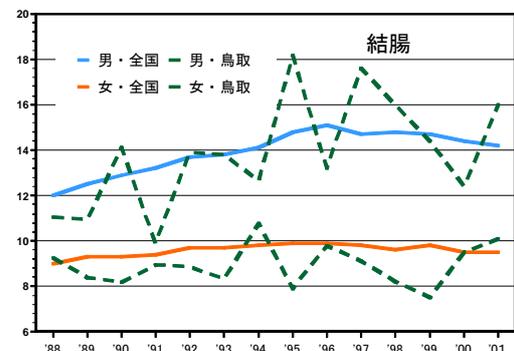
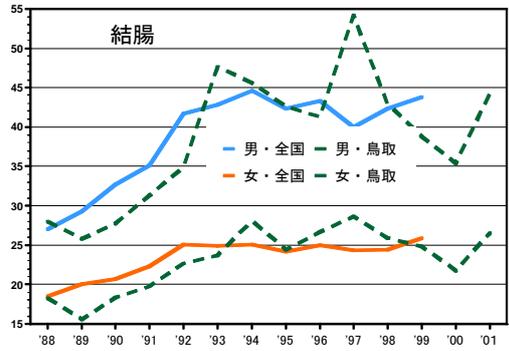
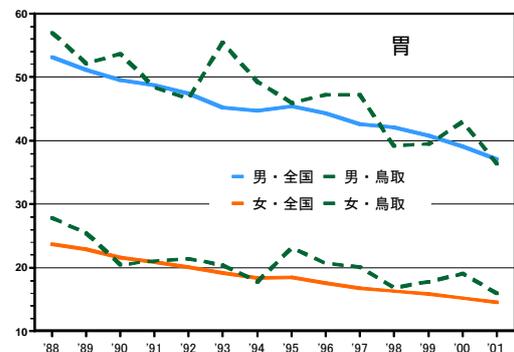
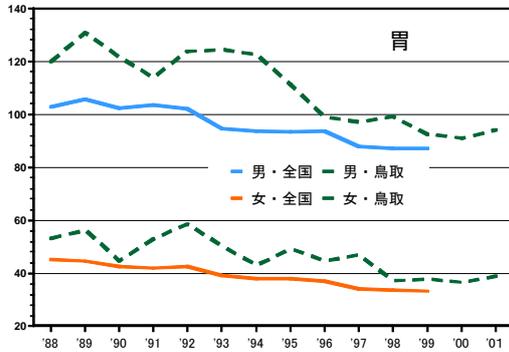
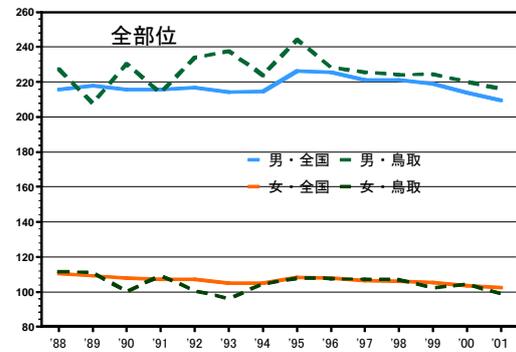
- ・鳥取県内居住者の届出件数です。(毎月の月報は県外居住者が含まれています)
- ・届出件数3,290件のうち、新規登録者は2,295件でした。

資料1-1 昭和60年モデル人口による年齢調整罹患率 および年齢調整死亡率の推移

罹患率(人口10万対)

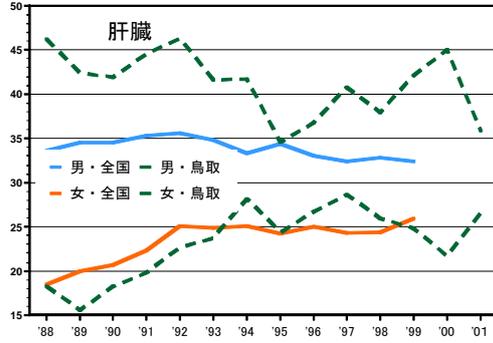


死亡率(人口10万対)

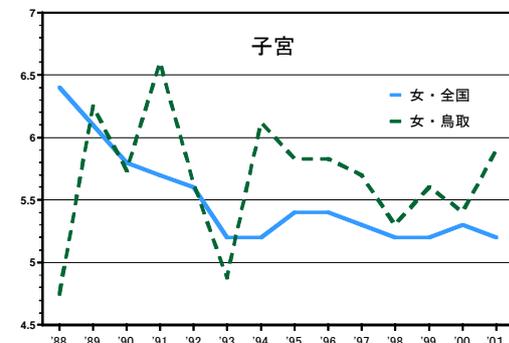
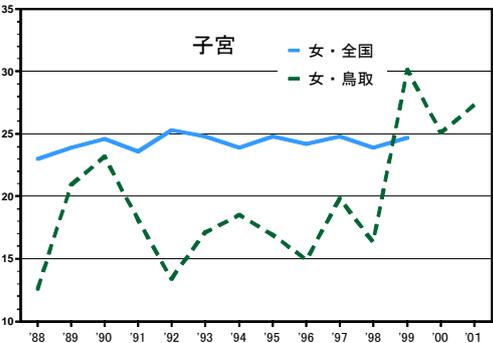
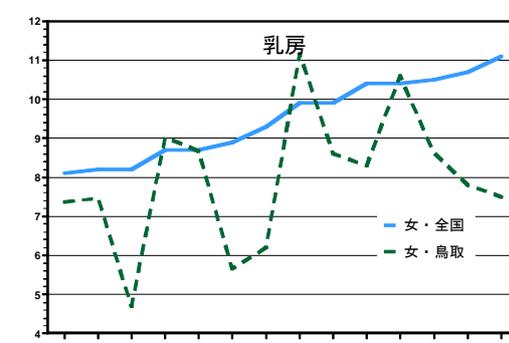
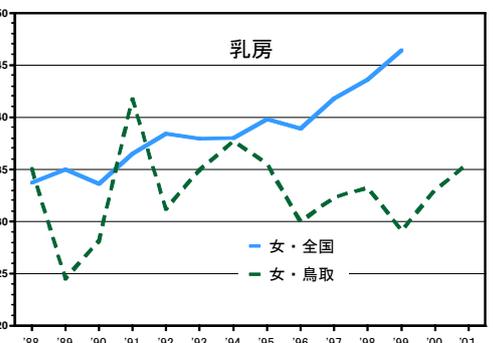
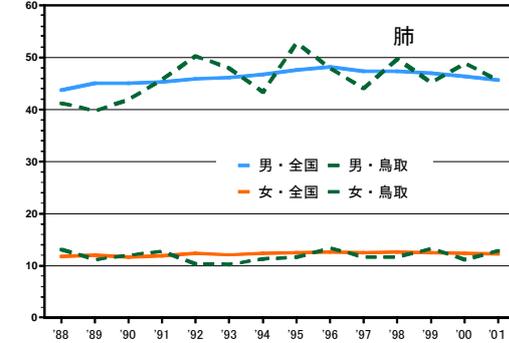
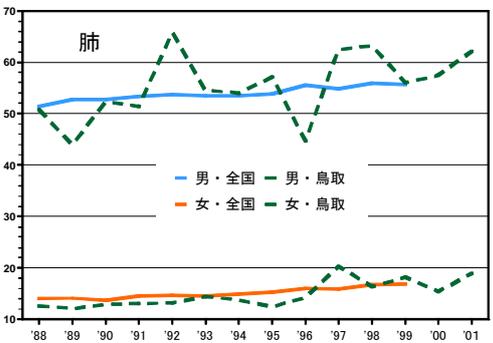
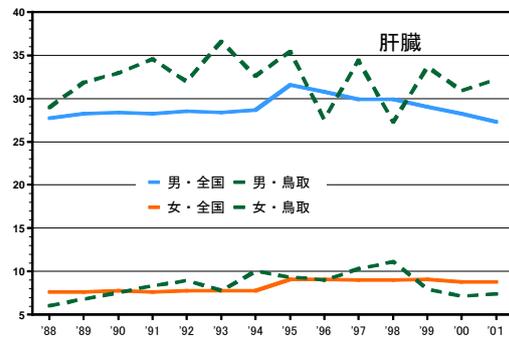


資料1-2 昭和60年モデル人口による年齢調整罹患率 および年齢調整死亡率の推移(つづき)

罹患率(人口10万対)



死亡率(人口10万対)



資料2-1 部位別・受診動機別集計結果(%)

2004.01.01-2004.12.31までの届出対象

ICD9	有訴受診	健康診断	各種がん検診	紹介	その他	無記入	計
全部位	34.2	8.1	5.2	36.0	7.7	8.9	100.0
口唇・口腔・咽頭	41.2	0.0	0.0	50.0	2.9	5.9	100.0
食道	32.1	6.0	3.6	42.9	4.8	10.7	100.0
胃	29.7	13.4	6.8	33.3	8.9	7.9	100.0
結腸	36.4	12.7	6.7	29.4	8.2	6.7	100.0
直腸	40.6	4.2	6.7	31.5	6.7	10.3	100.0
肝臓	22.3	2.8	2.2	43.0	21.2	8.4	100.0
胆嚢	46.4	1.4	0.0	34.8	8.7	8.7	100.0
膵臓	46.8	4.3	2.1	28.7	6.4	11.7	100.0
肺	21.6	8.5	6.8	39.3	10.4	13.4	100.0
皮膚	47.4	0.0	0.0	52.6	0.0	0.0	100.0
乳房	65.8	2.6	6.3	16.3	3.2	5.8	100.0
子宮	21.5	4.0	8.1	57.0	1.3	8.1	100.0
卵巣	24.6	1.6	0.0	62.3	0.0	11.5	100.0
前立腺	23.0	15.2	11.2	34.3	3.4	12.9	100.0
膀胱	43.6	3.4	0.0	35.9	6.0	11.1	100.0
腎臓	35.0	10.0	1.7	36.7	10.0	6.7	100.0
甲状腺	42.5	20.0	0.0	22.5	10.0	5.0	100.0
その他	45.6	2.9	0.5	41.2	4.9	4.9	100.0

資料2-2 部位別・受診動機別集計結果(実数)

2004.01.01-2004.12.31までの届出対象

ICD9	有訴受診	健康診断	各種がん検診	紹介	その他	無記入	計
全部位	997	235	152	1047	223	258	2912
口唇・口腔・咽頭	14	0	0	17	1	2	34
食道	27	5	3	36	4	9	84
胃	170	77	39	191	51	45	573
結腸	120	42	22	97	27	22	330
直腸	67	7	11	52	11	17	165
肝臓	40	5	4	77	38	15	179
胆嚢	32	1		24	6	6	69
膵臓	44	4	2	27	6	11	94
肺	79	31	25	144	38	49	366
皮膚	9	0	0	10	0	0	19
乳房	125	5	12	31	6	11	190
子宮	32	6	12	85	2	12	149
卵巣	15	1		38		7	61
前立腺	41	27	20	61	6	23	178
膀胱	51	4		42	7	13	117
腎臓	21	6	1	22	6	4	60
甲状腺	17	8		9	4	2	40
その他	93	6	1	84	10	10	204

資料2-3 部位別・紹介前医療機関受診動機別集計結果(%)

2004.01.01-2004.12.31までの届出対象

ICD9	有訴受診	健康診断	各種がん検診	紹介	その他	無記入	計
全部位	43.4	7.6	9.0	11.0	9.0	20.0	100.0
口唇・口腔・咽頭	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
食道	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
胃	40.6	9.4	15.6	6.3	6.3	21.9	100.0
結腸	42.9	9.5	9.5	0.0	0.0	38.1	100.0
直腸	75.0	0.0	12.5	0.0	0.0	12.5	100.0
肝臓	18.2	0.0	0.0	18.2	45.5	18.2	100.0
胆嚢	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	100.0
膵臓	66.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	100.0
肺	42.9	7.1	7.1	14.3	14.3	14.3	100.0
皮膚	-	-	-	-	-	-	-
乳房	75.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	100.0
子宮	50.0	0.0	20.0	0.0	20.0	10.0	100.0
卵巣	20.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	100.0
前立腺	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	37.5	100.0
膀胱	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0
腎臓	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0	100.0
甲状腺	-	-	-	-	-	-	-
その他	33.3	0.0	8.3	41.7	0.0	16.7	100.0

資料2-4 部位別・紹介前医療機関受診動機別集計結果(実数)

2004.01.01-2004.12.31までの届出対象

ICD9	有訴受診	健康診断	各種がん検診	紹介	その他	無記入	計
全部位	63	11	13	16	13	29	145
口唇・口腔・咽頭	1	0	0	0	0	0	1
食道	2	1	0	0	0	0	3
胃	13	3	5	2	2	7	32
結腸	9	2	2	0	0	8	21
直腸	6	0	1	0	0	1	8
肝臓	2	0	0	2	5	2	11
胆嚢	0	0	0	1	0	1	2
膵臓	4	1	0	1	0	0	6
肺	6	1	1	2	2	2	14
皮膚	0	0	0	0	0	0	0
乳房	3	0	0	0	0	1	4
子宮	5	0	2	0	2	1	10
卵巣	1	0	1	2	1	0	5
前立腺	3	2	0	0	0	3	8
膀胱	1	0	0	1	0	1	3
腎臓	3	1	0	0	1	0	5
甲状腺	0	0	0	0	0	0	0
その他	4	0	1	5	0	2	12

部位	ICD-10	手術		放射線治療		化学療法
		鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県
全部位	C00-C96 D05-D06	71.5	59.1	10.7	9.8	23.0
胃	C16	81.1	71.2	0.0	0.6	16.3
結腸	C18	92.2	78.1	0.3	0.6	15.5
直腸	C19-C21	96.3	81.1	2.8	2.1	34.6
肝臓	C22	40.2	19.2	4.9	2.1	12.7
肺	C33-C34	43.0	33.6	22.8	21.9	35.1
乳房	C50 D05	82.0	87.2	27.1	18.8	36.1
子宮	C53-C55 D06	80.2	68.2	22.4	18.2	21.1

資料4 治療状況の年次推移

手術

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	68.1%	80.6%	89.8%	86.9%	25.2%	28.7%	94.3%	70.1%
91-92	69.7%	82.8%	88.8%	90.5%	27.8%	35.3%	94.5%	47.3%
93-94	71.5%	79.3%	92.8%	87.6%	28.7%	46.8%	92.7%	62.2%
95-96	69.9%	80.9%	89.1%	87.9%	35.5%	30.5%	88.3%	62.3%
97-98	69.1%	80.2%	87.3%	88.0%	39.9%	42.0%	89.8%	63.2%
99-00	68.8%	80.5%	90.4%	91.1%	40.0%	36.4%	92.3%	76.8%
01	71.5%	81.1%	92.2%	96.3%	40.2%	43.0%	82.0%	80.2%

放射線療法

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	10.6%	0.3%	1.3%	0.4%	14.7%	33.6%	3.6%	43.5%
91-92	9.4%	0.4%	0.2%	1.1%	20.7%	28.3%	3.9%	25.3%
93-94	7.6%	0.5%	0.4%	1.3%	2.5%	27.1%	10.9%	31.1%
95-96	8.1%	0.5%	0.0%	2.9%	1.9%	29.9%	17.5%	22.6%
97-98	8.4%	0.8%	0.2%	1.6%	2.5%	22.1%	20.4%	23.2%
99-00	10.2%	0.6%	0.6%	2.3%	4.8%	29.3%	18.0%	23.2%
01	10.7%	0.0%	0.3%	2.8%	4.9%	22.8%	27.1%	22.4%

化学療法

	全部位	胃	結腸	直腸	肝臓	肺	乳房	子宮
89-90	35.2%	27.8%	32.9%	34.1%	48.1%	45.3%	60.9%	25.2%
91-92	27.9%	22.5%	28.8%	31.0%	44.0%	27.4%	53.9%	4.4%
93-94	22.8%	15.4%	20.8%	22.2%	30.3%	32.9%	36.5%	8.9%
95-96	20.0%	14.3%	16.7%	24.3%	23.4%	28.7%	43.3%	3.8%
97-98	20.0%	15.5%	17.5%	22.8%	18.5%	28.5%	33.3%	9.5%
99-00	20.9%	17.9%	20.0%	26.1%	18.8%	23.9%	34.7%	19.9%
01	23.0%	16.3%	15.5%	34.6%	12.7%	35.1%	36.1%	21.1%

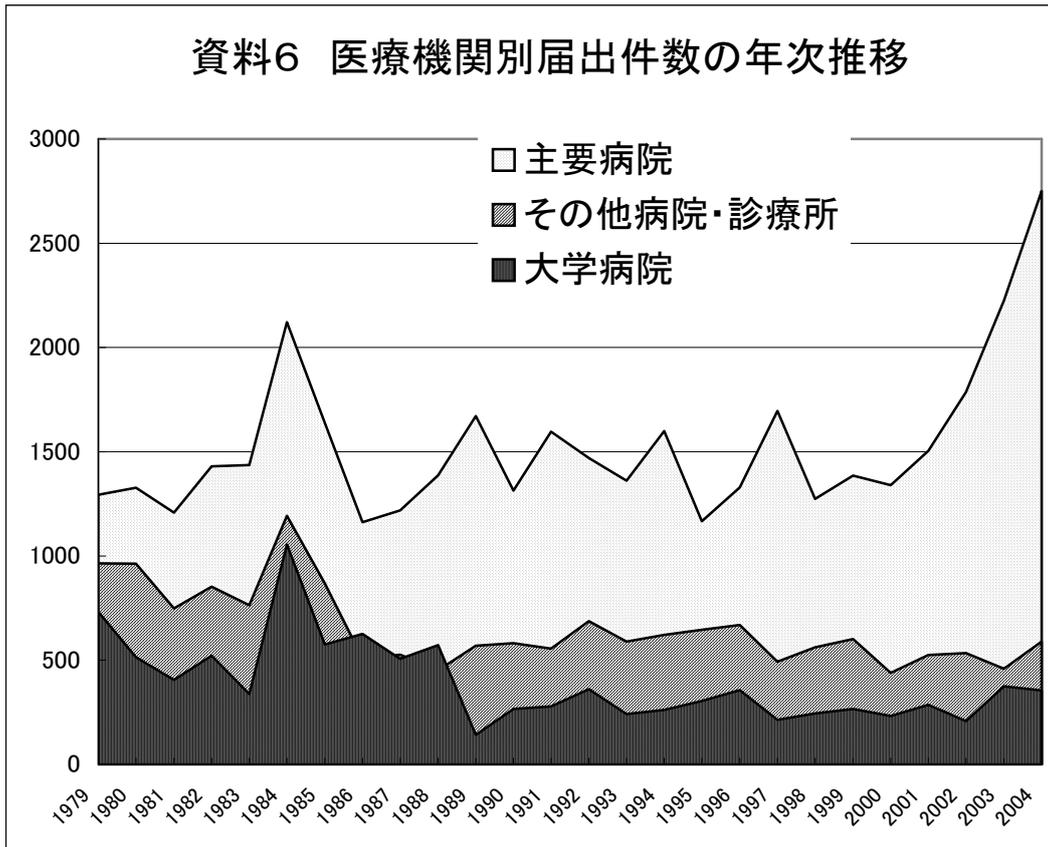
資料5 主要病院別届出件数の年次推移

	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987
鳥取県立中央病院	308	408	390	561	473	666	561	464	378
鳥取市立病院	114	108	95	70	78	129	114	64	68
鳥取赤十字病院	208	186	122	225	255	392	245	171	218
岩美病院	11	7	0	9	8	22	15	0	3
智頭病院	25	21	15	11	70	69	28	17	20
鳥取県立厚生病院	173	185	216	151	212	314	288	279	261
国立米子病院	144	134	142	175	114	144	101	36	25
山陰労災病院	73	57	62	47	62	119	95	30	15
博愛病院	113	103	51	71	25	65	66	2	134
済生会境港総合病院	54	66	52	40	60	89	48	51	48
西伯病院	5	21	19	17	26	32	31	21	21
日南病院	30	15	31	35	36	50	39	19	21
日野病院	35	16	13	18	17	31	7	8	6
主要病院	1293	1327	1208	1430	1436	2122	1638	1162	1218
大学病院	732	514	405	522	339	1054	575	626	507
その他病院・診療所	964	962	749	853	764	1,193	868	510	526
全県届出数	2,989	2,803	2,362	2,805	2,539	4,369	3,081	2,298	2,251

	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996
鳥取県立中央病院	436	447	394	516	380	224	381	255	287
鳥取市立病院	120	292	118	149	159	265	211	116	283
鳥取赤十字病院	212	254	83	209	182	170	226	170	45
岩美病院	20	37	38	21	32	22	13	22	7
智頭病院	48	36	24	16	0	10	6	0	0
鳥取県立厚生病院	250	258	260	221	221	196	326	248	195
国立米子病院	96	30	1	0	92	25	0	8	36
山陰労災病院	69	232	230	321	303	249	291	266	298
博愛病院	36	2	63	46	23	87	30	0	20
済生会境港総合病院	58	48	56	30	33	48	44	37	28
西伯病院	24	22	25	21	25	33	52	38	74
日南病院	11	13	16	24	15	32	19	7	21
日野病院	7	0	5	23	4	0	0	0	35
主要病院	1387	1671	1313	1597	1469	1361	1599	1167	1329
大学病院	572	142	267	279	361	242	261	305	357
その他病院・診療所	452	569	581	555	688	590	621	646	669
全県届出数	2,411	2,382	2,161	2,431	2,518	2,193	2,481	2,118	2,355

	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004
鳥取県立中央病院	368	278	298	262	370	164	518	512
鳥取市立病院	274	160	188	171	214	502	700	860
鳥取赤十字病院	116	132	102	124	206	284	221	267
岩美病院	7	36	35	17	7	9	3	23
智頭病院	0	2	0	0	0	8	0	4
鳥取県立厚生病院	292	267	227	218	213	261	213	202
国立米子病院	140	30	208	227	217	262	249	545
山陰労災病院	237	170	144	208	168	218	225	200
博愛病院	127	95	94	31	67	28	66	108
済生会境港総合病院	1	1	9	5	0	10	0	5
西伯病院	80	68	53	54	30	25	21	22
日南病院	9	12	12	21	13	15	9	3
日野病院	45	22	15	1	0	0	1	0
主要病院	1696	1273	1385	1339	1505	1786	2226	2751
大学病院	215	245	266	233	286	208	375	355
その他病院・診療所	493	562	602	440	525	534	459	589
全県届出数	2,404	2,080	2,253	2,012	2,316	2,528	3,060	3,695

資料6 医療機関別届出件数の年次推移



資料7 2004年主要病院・部位別届出集計

	食道	胃	結腸	直腸	肝臓	胆嚢	膵臓	肺	乳房	子宮	前立腺	膀胱	腎臓	甲状腺	リンパ腫	多発性骨髄腫	白血病	その他	合計
鳥取県立中央病院	14	106	48	21	40	13	24	51	22	15	13	24	11	11	24	6	21	48	512
鳥取市立病院	21	125	91	44	83	11	10	117	30	26	76	87	31	11	20	8	10	59	860
鳥取赤十字病院	8	65	33	23	30	8	14	28	43			1	1	1				12	267
岩美病院		5	10	4			1	2	1									0	23
智頭病院			2	1				1										0	4
鳥取県立厚生病院	9	28	18	12	15	13	8	52	20	6		1	5	6	1	1	7	202	
鳥取大学附属病院	21	40	25	6	30	5	10	17	5	100	2		1	5	13			75	355
国立米子病院	21	69	44	32	16	9	18	160	23	27	31	22	12	4	3	2		52	545
山陰労災病院	1	71	30	10	6	1	1		4		44	16	16					0	200
博愛病院		16	16	7	4	1	1	1	53					5	3			1	108
済生会境港総合病院		1	4															0	5
西伯病院		5	2		2	2	3	4		1	1	2						0	22
日南病院		1	1		1													0	3
日野病院																		0	0
東部	47	355	214	111	165	40	58	221	109	43	94	115	46	25	47	15	31	131	1867
中部	14	85	52	28	35	17	18	68	26	8	46	31	7	9	8	2	4	18	476
西部	45	234	139	61	61	20	40	193	89	132	82	41	33	15	20	4		143	1352
鳥取県	106	674	405	200	261	77	116	482	224	183	222	187	86	49	75	21	35	292	3695

資料8 鳥取県における組織診実施割合（HV／I％）の年次推移

男性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001
全部位	33.4	32.4	35	34.5	51.1	45.5	53.9	48.3	47.3	46.9	46.2	51.3	54.8
食道	14.3	40.7	50	48.6	63	50	58.5	68.9	62.7	60.3	50.0	63.6	68.6
胃	41.8	38.1	47.1	44.6	72.4	67.2	76	67.5	63.4	66.6	61.9	68.4	68.1
結腸	43.3	28.6	34.5	34.5	53.1	54	77.7	68.2	57.6	62.5	61.1	73.1	71.9
直腸	28.6	41.2	35.7	28.1	61.6	52.7	77	58.7	65.1	57.9	64.4	71.7	68.8
肝臓	4.4	2.4	3.3	11.3	10.4	5.8	9.3	13.6	9.3	11.4	14.6	16.3	9.1
胆嚢	21.4	12.5	9.1	5.9	45.2	11.4	16.7	14.9	19.5	14.0	8.3	38.5	22.2
膵臓	17.2	10	12.1	13.6	10.9	11.5	19.1	13	25.0	15.7	10.8	8.3	15.5
肺	16.8	17.5	26.5	31.6	46.8	38.3	38.8	32.8	39.3	36.2	41.9	39.6	48.8
前立腺	23.8	33.3	5.3	13.6	47.5	39.6	34.7	58.1	48.2	52.4	63.2	68.6	69.8
膀胱	54.5	41.7	24.1	25	44.1	53.7	61	22.2	55.4	41.9	55.7	56.5	52.3
腎臓	45.5	15.4	28.6	0	26.3	23.8	38.2	23.3	37.9	29.6	41.4	31.3	42.4
甲状腺	40	57.1	80	33.3	75	100	87.5	71.4	85.7	62.5	83.3	100.0	50.0
リンパ組織	44.4	43.3	32	61.9	32.3	26.83	40.43	32	36.6	41.2	22.7	26.9	36.6
造血器組織	23.5	21.4	25	7.7	33.3	9.52	19.05	30.8	26.3	14.3	15.4	29.4	36.7

女性

	1979	1980	1981	1984	1987	1990	1993	1996	1997	1998	1999	2000	2001
全部位	38.6	39.8	38.0	38.4	54.4	50.7	58.2	49.2	47.9	45.6	51.3	50.6	54.5
食道	0.0	0.0	28.6	37.5	33.3	37.5	66.7	60.0	71.4	63.6	22.2	46.2	75.0
胃	37.3	41.1	35.8	44.1	67.9	67.4	77.5	68.6	55.7	62.7	57.0	60.9	62.5
結腸	36.4	20.0	41.0	28.3	66.7	35.8	68.2	61.3	54.0	54.1	63.5	57.3	65.3
直腸	34.2	26.9	46.2	55.2	46.7	67.8	75.0	67.9	59.7	64.4	57.8	62.3	69.4
肝臓	0.0	0.0	6.1	9.1	12.0	9.8	17.0	9.2	11.4	10.0	9.9	13.9	10.4
胆嚢	17.4	9.1	7.7	29.0	32.4	29.2	24.6	20.0	11.9	11.5	26.7	19.1	12.1
膵臓	12.1	7.4	11.5	6.7	10.5	8.6	14.9	19.0	10.0	6.5	17.2	20.0	7.0
肺	17.0	20.0	12.8	30.5	45.1	38.2	33.3	43.2	40.0	34.0	35.9	46.4	38.2
乳房	69.7	70.5	69.5	58.6	74.4	69.3	82.3	56.8	74.6	73.1	82.6	76.2	83.7
子宮	40.5	63.5	51.9	44.9	68.5	74.0	65.7	34.9	63.6	59.1	81.7	80.2	81.9
卵巣	41.2	45.5	17.6	23.1	68.2	42.9	31.6	29.2	38.7	35.7	46.9	40.5	59.6
膀胱	42.9	30.0	50.0	17.6	27.3	50.0	20.0	30.8	36.8	29.4	57.1	43.8	69.2
腎臓	25.0	100.0	55.6	16.7	23.1	26.7	38.5	9.1	40.9	6.3	25.0	27.3	50.0
甲状腺	81.4	78.6	75.0	65.4	81.6	68.4	87.8	63.6	85.7	85.7	78.1	80.0	71.4
リンパ組織	66.7	26.1	52.2	44.4	43.5	16.0	39.3	41.1	38.6	33.3	25.8	51.3	28.6
造血器組織	35.3	0.0	15.8	57.1	27.3	20.0	50.0	20.0	13.0	4.4	42.9	5.6	13.3

資料9 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成13年 男性)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級											粗罹患率	調整罹患率	HV	DCN
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+	不詳				
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	1787	1	2	3	13	77	224	481	640	345	1	609.6	388.3	54.8	32.3
全部位*2	C00-C96 (140-208)	1787	1	2	3	13	77	224	481	640	345	1	609.6	388.3	54.8	32.3
口唇、口腔および咽頭	C00-C14 (140-149)	37	0	0	0	1	2	3	16	11	4	0	12.6	8.5	78.4	21.6
口唇、口腔	C00-C08 (140-145)	19	0	0	0	1	2	2	6	6	2	0	6.5	4.6	84.2	15.8
咽頭	C09-C14 (146-149)	18	0	0	0	0	0	1	10	5	2	0	6.1	3.9	72.2	27.8
食道	C15 (150)	86	0	0	0	0	3	15	30	26	12	0	29.3	19.7	68.6	25.6
胃	C16 (151)	411	0	0	0	4	27	69	118	122	71	0	140.2	94.1	68.1	18.0
小腸	C17 (152)	8	0	0	0	0	1	1	2	2	2	0	2.7	1.8	75.0	12.5
結腸	C18 (153)	203	0	0	0	0	10	28	65	73	27	0	69.2	44.2	71.9	18.2
直腸および肛門	C19-C21 (154)	80	0	0	0	1	1	14	31	22	11	0	27.3	18.5	68.8	25.0
肝および肝内胆管	C22 (155)	164	0	0	0	1	9	18	50	60	26	0	55.9	35.9	9.1	56.7
胆嚢および肝外胆管	C23-C24 (156)	36	0	0	0	0	2	3	9	10	12	0	12.3	7.6	22.2	52.8
膵臓	C25 (157)	71	0	0	0	0	2	7	13	36	12	1	24.2	14.2	15.5	54.9
その他の消化器	C26 (159)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.1	0.0	100.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30-C31 (160)	3	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1.0	0.9	100.0	0.0
喉頭	C32 (161)	22	0	0	0	0	0	6	6	6	4	0	7.5	4.8	81.8	13.6
気管、気管支および肺	C33-C34 (162)	303	0	0	0	0	8	29	72	131	63	0	103.4	62.2	48.8	44.9
胸腺、心および縦隔	C37-C38 (164)	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0.7	0.6	100.0	0.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40-C41 (170)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0.7	0.5	0.0	50.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	5	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1.7	0.8	80.0	0.0
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	18	0	0	0	0	1	2	3	7	5	0	6.1	3.7	94.4	0.0
胸膜	C45 (163)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0.7	0.4	0.0	100.0
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	2	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0.7	0.6	100.0	0.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	4	0	0	1	0	0	1	0	1	1	0	1.4	1.2	75.0	25.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174-175 2330)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.2	0.0	100.0
子宮(上皮内がんを含む)	C53-C55 D06 (179- 180 182 2331)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
子宮	C53-C55 (179-180 182)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
子宮頸	C53 (180)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
子宮体	C54 (182)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
子宮、部位不明	C55 (179)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
卵巣	C56 (1830)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
その他及び部位不明の女性生殖系	C51-C52 C57 (183- 184 1830は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
前立腺	C61 (185)	116	0	0	0	0	0	1	22	54	39	0	39.6	22.0	69.8	25.0
睪丸	C62 (186)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.3	0.4	100.0	0.0
陰茎およびその他の男性生殖系	C60 C63 (187)	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1.0	0.6	100.0	0.0
腎など	C64-C66 C68 (189)	33	0	0	0	0	1	3	12	12	5	0	11.3	6.9	42.4	33.3
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	22	0	0	0	0	1	3	8	7	3	0	11.3	6.9	42.4	33.3
膀胱	C67 (188)	65	0	0	0	0	4	8	15	22	16	0	22.2	13.8	52.3	27.7
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70-C72 (191-192)	14	0	1	1	0	2	1	2	6	1	0	4.8	3.5	57.1	35.7
脳	C71 (191)	11	0	0	1	0	1	1	2	5	1	0	3.8	2.6	45.5	45.5
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	3	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0.7	0.6	100.0	0.0
甲状腺	C73 (193)	4	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	1.4	0.9	50.0	50.0
その他の内分泌腺	C74-C75 (194)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.2	0.0	100.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.7	0.5	50.0	0.0
続発部位および原発部位不詳	C77-C80 (196-199)	16	0	0	0	1	0	3	0	5	7	0	5.5	3.4	25.0	62.5
リンパ組織	C81-C90 C96 (200- 203)	41	0	0	1	0	1	2	7	13	17	0	14.0	8.2	36.6	58.5
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82-C85 (200)	29	0	0	1	0	1	2	5	10	10	0	9.9	6.0	44.8	51.7
その他のリンパ組織	C96 (202)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90 (203)	12	0	0	0	0	0	0	2	3	7	0	4.1	2.2	16.7	75.0
白血病	C91-C95 (204-208)	30	1	0	0	2	2	6	5	9	5	0	10.2	7.4	36.7	63.3
リンパ性白血病	C91 (204)	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	1.4	1.1	50.0	50.0
骨髄性白血病	C92 (205)	22	1	0	0	2	2	2	5	7	3	0	7.5	5.5	40.9	59.1
単球性白血病	C93 (206)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	0	1.4	0.7	0.0	100.0

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む

*2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない

資料10 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成13年 女性)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級											粗罹患率	調整罹患率	HV	DCN
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+	不詳				
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	1312	0	3	10	28	105	177	291	348	350	0	410.1	232.5	54.5	33.7
全部位*2	C00-C96 (140-208)	1293	0	3	9	25	96	174	290	346	350	0	404.1	226.0	53.8	34.2
口唇、口腔および咽頭	C00-C14 (140-149)	6	0	0	0	0	0	2	0	1	3	0	1.9	0.9	33.3	33.3
口唇、口腔	C00-C08 (140-145)	6	0	0	0	0	0	2	0	1	3	0	1.9	0.9	33.3	33.3
咽頭	C09-C14 (146-149)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
食道	C15 (150)	8	0	0	0	0	0	2	3	1	2	0	2.5	1.5	75.0	25.0
胃	C16 (151)	232	0	0	0	3	8	31	67	70	53	0	72.5	38.9	62.5	25.9
小腸	C17 (152)	8	0	0	0	0	1	0	2	3	2	0	2.5	1.3	62.5	25.0
結腸	C18 (153)	167	0	0	0	1	10	16	41	46	53	0	52.2	26.5	65.3	22.2
直腸および肛門	C19-C21 (154)	62	0	0	0	0	2	11	17	15	17	0	19.4	10.2	69.4	24.2
肝および肝内胆管	C22 (155)	77	0	1	2	0	0	6	21	20	27	0	24.1	11.4	10.4	59.7
胆嚢および肝外胆管	C23-C24 (156)	58	0	0	0	0	0	4	7	12	35	0	18.1	6.5	12.1	63.8
膵臓	C25 (157)	57	0	0	0	0	1	4	8	21	23	0	17.8	7.7	7.0	57.9
その他の消化器	C26 (159)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30-C31 (160)	7	0	0	0	0	0	0	0	4	3	0	2.2	0.8	57.1	42.9
喉頭	C32 (161)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
気管、気管支および肺	C33-C34 (162)	131	0	0	0	0	4	13	28	39	47	0	40.9	19.0	38.2	53.4
胸腺、心および縦隔	C37-C38 (164)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.6	0.3	0.0	100.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40-C41 (170)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	6	0	0	0	0	1	0	0	1	4	0	1.9	0.8	66.7	33.3
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	14	0	0	0	0	1	1	5	2	5	0	4.4	2.1	92.9	7.1
胸膜	C45 (163)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.1	100.0	0.0
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	2	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0.6	0.4	50.0	50.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	2	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0.6	0.4	0.0	50.0
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174-175 2330)	147	0	0	1	9	32	32	30	28	15	0	45.9	35.6	83.7	9.5
子宮(上皮内がんを含む)	C53-C55 D06 (179-180 182 2331)	105	0	0	3	9	24	27	13	21	8	0	32.8	27.3	81.9	13.3
子宮	C53-C55 (179-180 182)	90	0	0	2	6	19	24	12	19	8	0	28.1	22.3	78.9	15.6
子宮頸	C53 (180)	50	0	0	1	6	17	7	6	12	1	0	15.6	13.9	82.0	14.0
子宮体	C54 (182)	31	0	0	1	0	2	16	4	5	3	0	9.7	7.2	83.9	9.7
子宮、部位不明	C55 (179)	9	0	0	0	0	0	1	2	2	4	0	2.8	1.2	44.4	44.4
卵巣	C56 (1830)	47	0	0	1	2	8	12	10	11	3	0	14.7	10.8	59.6	31.9
その他及び部位不明の女性生殖器	C51-C52 C57 (183-184 1830は除く)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.6	0.2	50.0	50.0
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
前立腺	C61 (185)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
睾丸	C62 (186)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
陰茎およびその他の男性生殖器	C60 C63 (187)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-
腎など	C64-C66 C68 (189)	22	0	0	0	0	1	1	7	6	7	0	6.9	3.3	50.0	27.3
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	10	0	0	0	0	0	1	5	1	3	0	6.6	3.1	47.6	28.6
膀胱	C67 (188)	26	0	0	0	0	1	3	7	8	7	0	8.1	4.0	69.2	23.1
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70-C72 (191-192)	13	0	1	0	0	2	0	1	8	1	0	4.1	2.4	46.2	53.8
脳	C71 (191)	12	0	1	0	0	2	0	1	7	1	0	3.8	2.2	41.7	58.3
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0.3	0.1	100.0	0.0
甲状腺	C73 (193)	28	0	1	1	1	6	5	9	2	3	0	8.8	7.3	71.4	21.4
その他の内分泌腺	C74-C75 (194)	2	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0.6	0.5	100.0	0.0
その他および不明確な部位	C76 (195)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
続発部位および原発部位不詳	C77-C80 (196-199)	16	0	0	0	1	0	2	3	4	6	0	5.0	2.4	12.5	75.0
リンパ組織	C81-C90 C96 (200-203)	49	0	0	0	2	2	3	7	14	21	0	15.3	7.3	28.6	69.4
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82-C85 (200)	30	0	0	0	2	2	2	5	8	11	0	9.4	5.1	36.7	60.0
その他のリンパ組織	C96 (202)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.3	0.3	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90 (203)	18	0	0	0	0	0	0	2	6	10	0	5.6	1.8	11.1	88.9
白血病	C91-C95 (204-208)	15	0	0	1	0	0	1	4	6	3	0	4.7	2.5	13.3	86.7
リンパ性白血病	C91 (204)	5	0	0	1	0	0	0	2	2	0	0	1.6	0.8	0.0	100.0
骨髄性白血病	C92 (205)	7	0	0	0	0	0	1	3	2	1	0	2.2	1.2	28.6	71.4
単球性白血病	C93 (206)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.3	0.2	0.0	100.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0.6	0.3	0.0	100.0

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む

*2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない

資料11 鳥取県がん罹患集計結果一覧表(平成13年 総数)

部 位	ICD-10	年 齢 10 歳 階 級										粗罹患率	調整罹患率	HV	DCN	
		合計	0-	10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	80+					不詳
全部位*1	C00-C96 D05-D06 (140-208 2330-2331)	3099	1	5	13	41	182	401	772	988	695	1	505.5	294.9	54.7	32.9
全部位*2	C00-C96 (140-208)	3080	1	5	12	38	173	398	771	986	695	1	502.4	291.7	54.4	33.1
口唇、口腔および咽頭	C00-C14 (140-149)	43	0	0	0	1	2	5	16	12	7	0	7.0	4.3	72.1	23.3
口唇、口腔	C00-C08 (140-145)	25	0	0	0	1	2	4	6	7	5	0	4.1	2.6	72.0	20.0
咽頭	C09-C14 (146-149)	18	0	0	0	0	0	1	10	5	2	0	2.9	1.7	72.2	27.8
食道	C15 (150)	94	0	0	0	0	3	17	33	27	14	0	15.3	9.5	69.1	25.5
胃	C16 (151)	643	0	0	0	7	35	100	185	192	124	0	104.9	63.2	66.1	20.8
小腸	C17 (152)	16	0	0	0	0	2	1	4	5	4	0	2.6	1.5	68.8	18.8
結腸	C18 (153)	370	0	0	0	1	20	44	106	119	80	0	60.3	34.3	68.9	20.0
直腸および肛門	C19-C21 (154)	142	0	0	0	1	3	25	48	37	28	0	23.2	13.9	69.0	24.6
肝および肝内胆管	C22 (155)	241	0	1	2	1	9	24	71	80	53	0	39.3	22.1	9.5	57.7
胆嚢および肝外胆管	C23-C24 (156)	94	0	0	0	0	2	7	16	22	47	0	15.3	7.1	16.0	59.6
膵臓	C25 (157)	128	0	0	0	0	3	11	21	57	35	1	20.9	10.5	11.7	56.3
その他の消化器	C26 (159)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0.2	0.0	0.0	100.0
鼻腔、中耳および副鼻腔	C30-C31 (160)	10	0	0	0	1	0	1	0	5	3	0	1.6	0.9	70.0	30.0
喉頭	C32 (161)	22	0	0	0	0	0	6	6	6	4	0	3.6	2.1	81.8	13.6
気管、気管支および肺	C33-C34 (162)	434	0	0	0	0	12	42	100	170	110	0	70.8	37.0	45.6	47.5
胸腺、心および縦隔	C37-C38 (164)	4	0	0	0	0	1	0	1	2	0	0	0.7	0.5	50.0	50.0
その他の呼吸系および胸腔内臓器	C39 (165)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
骨および関節軟骨	C40-C41 (170)	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0.3	0.2	0.0	50.0
皮膚の悪性黒色腫	C43 (172)	11	0	0	0	0	1	0	0	4	6	0	1.8	0.8	72.7	18.2
皮膚のその他の悪性新生物	C44 (173)	32	0	0	0	0	2	3	8	9	10	0	5.2	2.7	93.8	3.1
胸膜	C45 (163)	3	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0.5	0.2	33.3	66.7
カボジ肉腫	C46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
後腹膜および腹膜	C48 (158)	4	0	0	0	1	1	0	1	0	1	0	0.7	0.5	75.0	25.0
結合組織およびその他の軟部組織	C47 C49 (171)	6	0	0	1	0	0	2	0	2	1	0	1.0	0.7	50.0	33.3
乳房(上皮内がんを含む)	C50 D05 (174-175 2330)	148	0	0	1	9	32	32	30	29	15	0	24.1	18.6	83.1	10.1
子宮(上皮内がんを含む)	C53-C55 D06 (179-180 182 2331)	105	0	0	3	9	24	27	13	21	8	0	17.1	14.1	81.9	13.3
子宮	C53-C55 (179-180 182)	90	0	0	2	6	19	24	12	19	8	0	14.7	11.5	78.9	15.6
子宮頸	C53 (180)	50	0	0	1	6	17	7	6	12	1	0	8.2	7.1	82.0	14.0
子宮体	C54 (182)	31	0	0	1	0	2	16	4	5	3	0	5.1	3.7	83.9	9.7
子宮、部位不明	C55 (179)	9	0	0	0	0	0	1	2	2	4	0	1.5	0.7	44.4	44.4
卵巣	C56 (1830)	47	0	0	1	2	8	12	10	11	3	0	7.7	5.6	59.6	31.9
その他及び部位不明の女性生殖器官	C51-C52 C57 (183-184 1830は除く)	2	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0.3	0.1	50.0	50.0
胎盤	C58 (181)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
前立腺	C61 (185)	116	0	0	0	0	0	1	22	54	39	0	18.9	8.6	69.8	25.0
睪丸	C62 (186)	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0.2	0.2	100.0	0.0
陰茎およびその他の男性生殖器官	C60 C63 (187)	3	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0.5	0.3	100.0	0.0
腎など	C64-C66 C68 (189)	55	0	0	0	0	2	4	19	18	12	0	9.0	4.9	45.5	30.9
腎臓、腎盂を除く	C64 (1890)	32	0	0	0	0	1	4	13	8	6	0	8.8	4.7	44.4	31.5
膀胱	C67 (188)	91	0	0	0	0	5	11	22	30	23	0	14.8	8.1	57.1	26.4
眼	C69 (190)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
脳など	C70-C72 (191-192)	27	0	2	1	0	4	1	3	14	2	0	4.4	2.9	51.9	44.4
脳	C71 (191)	23	0	1	1	0	3	1	3	12	2	0	3.8	2.4	43.5	52.2
髄膜およびその他の中枢神経系	C70 C72 (192)	4	0	1	0	0	1	0	0	2	0	0	0.5	0.4	100.0	0.0
甲状腺	C73 (193)	32	0	1	1	1	6	8	9	2	4	0	5.2	4.2	68.8	25.0
その他の内分泌腺	C74-C75 (194)	3	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0.5	0.3	66.7	33.3
その他および不明な部位	C76 (195)	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0.3	0.2	50.0	0.0
続発部位および原発部位不詳	C77-C80 (196-199)	32	0	0	0	2	0	5	3	9	13	0	5.2	2.7	18.8	68.8
リンパ組織	C81-C90 C96 (200-203)	90	0	0	1	2	3	5	14	27	38	0	14.7	7.4	32.2	64.4
ホジキンリンパ腫	C81 (201)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
非ホジキンリンパ腫	C82-C85 (200)	59	0	0	1	2	3	4	10	18	21	0	9.6	5.3	40.7	55.9
その他のリンパ組織	C96 (202)	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0.2	0.2	100.0	0.0
多発性骨髄腫	C88-C90 (203)	30	0	0	0	0	0	0	4	9	17	0	4.9	1.9	13.3	83.3
白血病	C91-C95 (204-208)	45	1	0	1	2	2	7	9	15	8	0	7.3	4.7	28.9	71.1
リンパ性白血病	C91 (204)	9	0	0	1	0	0	4	0	2	2	0	1.5	1.0	22.2	77.8
骨髄性白血病	C92 (205)	29	1	0	0	2	2	3	8	9	4	0	4.7	3.2	37.9	62.1
単球性白血病	C93 (206)	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0.2	0.1	0.0	100.0
その他の明示された白血病	C94 (207)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0
細胞形態不明の白血病	C95 (208)	6	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	1.0	0.4	0.0	100.0

*1: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含む

*2: 乳房および子宮頸部の上皮内がんを含まない

資料12 平成13年・市町村別罹患数

市町村	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	1,787	1,312	411	232	203	167	80	62	164	77	303	131	147	105
市計	971	738	230	125	109	94	48	37	90	44	161	73	86	65
郡計	814	574	180	107	93	73	32	25	74	33	142	58	61	40
鳥取市	403	275	98	52	43	39	22	14	32	21	72	19	31	21
米子市	334	289	75	44	43	44	11	16	26	13	62	32	34	25
倉吉市	149	106	34	16	14	8	11	4	20	5	18	12	15	12
境港市	85	68	23	13	9	3	4	3	12	5	9	10	6	7
岩美郡	62	69	13	12	5	9	3	6	6	9	15	6	6	1
岩美町	28	41	5	7	2	5	-	2	1	7	10	2	4	1
国府町	25	19	4	3	3	2	3	2	4	-	3	4	2	-
福部村	9	9	4	2	-	2	-	2	1	2	2	-	-	-
気高郡	86	47	23	13	13	6	4	1	5	1	11	3	7	4
青谷町	30	12	5	3	2	-	-	-	3	-	8	-	5	1
気高町	43	22	13	5	8	5	3	1	2	-	2	2	1	2
鹿野町	13	13	5	5	3	1	1	-	-	1	1	1	1	1
八頭郡	174	121	41	17	13	9	7	5	25	9	34	14	10	7
河原町	28	15	6	6	2	-	2	-	5	-	2	1	-	2
郡家町	37	25	6	1	4	1	2	2	9	2	2	3	1	2
智頭町	28	17	10	2	3	1	1	1	2	-	5	5	-	-
八東町	18	14	3	2	-	1	1	-	2	-	6	2	1	-
船岡町	11	13	3	2	2	5	-	1	-	1	3	1	1	-
用瀬町	15	10	3	2	-	1	-	-	2	-	4	1	1	-
若桜町	27	23	7	1	2	-	1	1	4	6	8	1	4	3
佐治村	10	4	3	1	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-
東伯郡	211	166	56	28	18	24	5	10	13	7	39	13	25	20
赤碕町	34	22	9	4	3	4	2	1	3	1	8	1	4	-
関金町	15	14	5	4	1	1	-	-	2	-	2	1	2	2
大栄町	17	28	4	5	1	6	-	1	1	2	2	1	3	4
東郷町	18	15	4	5	3	2	1	-	2	1	5	-	1	2
東伯町	42	31	10	6	2	2	-	3	3	-	8	4	6	4
羽合町	20	21	6	2	1	5	2	1	-	2	4	1	4	3
北条町	28	13	10	-	3	3	-	1	1	-	3	3	3	1
三朝町	29	16	4	1	3	-	-	2	-	1	6	1	1	4
泊村	8	6	4	1	1	1	-	1	1	-	1	1	1	-
西伯郡	184	115	29	19	22	19	11	3	21	5	26	14	10	3
会見町	18	6	3	1	4	4	3	-	2	1	1	-	-	-
岸本町	29	12	5	3	2	3	-	-	5	-	4	-	1	-
西伯町	31	21	5	4	3	2	3	1	-	1	7	5	3	-
大山町	26	11	3	1	3	2	2	-	6	1	3	2	1	-
名和町	19	16	2	1	1	2	-	1	4	1	4	-	4	-
中山町	18	17	5	5	2	2	1	1	1	-	3	1	-	1
淀江町	38	26	6	3	6	2	2	-	3	1	3	4	1	2
日吉津村	5	6	-	1	1	2	-	-	-	-	1	2	-	-
日野郡	97	56	18	18	22	6	2	-	4	2	17	8	3	5
江府町	15	13	4	6	3	1	-	-	1	-	3	-	1	2
日南町	43	22	6	6	14	4	1	-	1	1	7	4	1	2
日野町	20	9	5	3	1	-	-	-	1	-	3	-	-	1
溝口町	19	12	3	3	4	1	1	-	1	1	4	4	1	-
鳥取保健所	551	391	134	77	61	54	29	21	43	31	98	28	44	26
郡家支所	174	121	41	17	13	9	7	5	25	9	34	14	10	7
倉吉保健所	360	272	90	44	32	32	16	14	33	12	57	25	40	32
米子保健所	603	472	127	76	74	66	26	22	59	23	97	56	50	35
根雨支所	97	56	18	18	22	6	2	-	4	2	17	8	3	5
東部	725	512	175	94	74	63	36	26	68	40	132	42	54	33
中部	360	272	90	44	32	32	16	14	33	12	57	25	40	32
西部	700	528	145	94	96	72	28	22	63	25	114	64	53	40

資料13 平成13年・市町村別年齢調整罹患率（昭和60年モデル人口、人口10万対）

市町村	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	388.3	232.5	94.1	38.9	44.2	26.5	18.5	10.2	35.9	11.4	62.2	19.0	35.6	27.3
市計	381.6	232.4	94.3	37.7	42.5	26.3	20.1	10.6	35.0	11.6	60.9	19.5	33.9	30.1
郡計	396.3	234.5	92.0	41.3	46.0	27.2	16.2	9.9	38.1	11.4	63.3	18.2	38.9	22.2
鳥取市	423.8	224.2	106.6	41.4	45.4	26.7	24.3	10.9	33.9	16.0	73.0	11.7	32.0	25.6
米子市	348.0	252.7	79.6	35.4	44.0	34.6	12.3	12.7	26.3	7.9	63.9	25.9	35.3	32.4
倉吉市	412.9	236.1	103.7	31.1	40.3	17.3	31.1	4.9	55.7	8.5	45.0	19.4	45.9	37.8
境港市	318.6	187.7	97.4	40.6	33.9	9.3	15.7	9.4	41.3	11.9	32.0	23.9	20.4	30.7
岩美郡	316.0	260.6	62.6	44.3	27.5	37.0	18.1	20.8	23.8	31.9	72.9	18.5	38.2	3.8
岩美町	248.0	265.5	42.7	44.4	18.7	20.3	-	5.5	6.8	50.9	93.0	10.5	44.5	6.8
国府町	401.6	242.5	54.4	41.8	51.0	28.8	56.7	33.5	46.7	-	38.1	39.7	38.2	-
福部村	408.0	279.2	173.1	57.8	-	108.8	-	56.8	55.7	36.9	90.6	-	-	-
気高郡	448.1	213.5	127.3	62.0	69.0	19.3	17.7	9.1	19.9	2.6	53.2	6.0	49.7	25.8
青谷町	401.5	177.5	56.3	36.4	42.6	-	-	-	32.5	-	100.6	-	106.2	6.3
気高町	550.6	197.0	168.0	44.2	100.1	39.8	31.5	20.7	18.2	-	23.3	10.5	7.1	29.9
鹿野町	354.1	329.2	183.2	165.4	56.2	12.3	25.7	-	-	12.3	25.7	7.8	44.8	38.5
八頭郡	415.1	215.7	103.0	28.9	29.5	12.2	16.3	5.9	67.7	10.4	67.7	21.5	33.5	17.3
河原町	412.0	228.7	96.6	76.9	27.9	-	29.6	-	81.2	-	21.9	18.0	-	48.0
郡家町	510.9	219.9	79.3	3.4	48.4	6.9	27.1	10.3	142.9	13.2	22.8	30.6	24.0	28.0
智頭町	371.1	104.9	144.0	10.5	40.5	6.8	15.2	9.3	15.7	-	47.6	27.9	-	-
八東町	400.3	222.9	86.6	29.5	-	5.1	16.4	-	51.2	-	115.1	43.1	42.9	-
船岡町	280.4	206.8	91.0	36.5	51.6	92.2	-	6.1	-	6.1	63.5	12.2	6.1	-
用瀬町	409.3	276.2	77.3	21.3	-	16.0	-	-	55.6	-	81.1	8.4	96.1	-
若桜町	535.9	397.4	133.5	37.2	29.8	-	14.9	15.5	88.7	64.3	157.0	4.6	102.6	33.1
佐治村	388.6	170.9	80.6	26.0	-	-	-	-	82.9	-	165.9	-	102.2	-
東伯郡	361.5	255.9	104.6	36.9	30.5	31.0	8.5	15.8	24.0	10.4	64.8	15.9	57.7	38.9
赤碕町	438.8	292.8	115.5	48.1	36.6	53.7	33.4	24.4	42.3	5.1	88.4	3.3	75.8	-
関金町	401.1	245.7	158.1	66.6	28.6	12.2	-	-	53.8	-	40.5	15.5	27.7	49.5
大栄町	221.8	336.5	56.4	61.9	13.5	44.6	-	6.7	18.6	24.0	24.2	3.1	74.7	67.5
東郷町	326.8	167.7	94.1	46.6	42.4	11.3	15.2	-	28.4	12.3	97.4	-	26.7	34.6
東伯町	372.9	260.9	96.1	27.0	14.7	25.3	-	23.8	29.2	-	64.6	44.8	47.0	39.8
羽合町	324.9	324.5	97.2	37.6	12.7	59.1	26.4	21.0	-	24.8	75.2	3.1	108.0	47.9
北条町	481.7	184.6	164.4	-	63.6	40.8	-	19.6	21.9	-	60.7	29.3	55.6	26.1
三朝町	336.9	188.8	70.7	5.2	35.4	-	-	19.4	-	24.6	74.9	9.3	24.6	54.2
泊村	282.4	302.5	130.3	96.5	49.6	15.2	-	9.4	31.8	-	35.4	21.6	85.9	-
西伯郡	425.0	226.0	65.0	38.2	52.9	33.8	27.0	5.8	53.7	7.9	55.3	26.2	24.3	8.2
会見町	542.4	168.0	84.8	13.4	127.8	96.1	104.7	-	76.7	58.5	26.0	-	-	-
岸本町	508.2	194.8	96.9	49.8	37.9	38.5	-	-	88.9	-	65.4	-	17.9	-
西伯町	489.5	226.3	70.0	33.1	54.7	11.0	45.9	11.6	-	2.9	99.8	49.6	62.2	-
大山町	488.9	109.4	52.1	4.4	42.2	12.7	31.9	-	128.4	4.4	44.8	15.1	32.0	-
名和町	282.4	209.9	29.8	23.7	24.3	28.5	-	6.7	63.9	4.8	51.4	-	34.6	-
中山町	341.5	339.5	82.2	108.7	38.6	50.3	25.3	27.9	16.7	-	49.8	17.1	-	35.3
淀江町	465.0	299.4	76.7	36.6	76.9	23.9	22.2	-	43.0	6.9	39.6	51.5	11.9	23.9
日吉津村	225.2	283.8	-	40.8	45.0	81.6	-	-	-	-	46.9	102.5	-	-
日野郡	434.8	222.3	101.7	64.2	99.9	31.4	9.5	-	20.9	14.0	66.6	13.6	15.8	33.8
江府町	441.8	279.7	129.9	100.4	89.1	30.1	-	-	17.3	-	53.2	-	58.5	26.8
日南町	512.5	320.1	117.4	58.4	160.9	73.8	7.2	-	25.0	28.9	64.7	20.8	8.9	76.0
日野町	399.8	135.3	107.6	54.6	15.7	-	-	-	32.5	-	68.3	-	-	24.9
溝口町	356.6	142.7	70.7	48.5	91.4	8.1	26.8	-	13.8	25.1	67.5	23.9	3.9	-
鳥取保健所	410.6	226.9	103.3	44.0	45.7	27.0	22.8	11.9	31.0	16.5	70.5	12.1	34.8	23.0
郡家支所	415.1	215.7	103.0	28.9	29.5	12.2	16.3	5.9	67.7	10.4	67.7	21.5	33.5	17.3
倉吉保健所	384.4	247.5	104.8	34.5	34.6	25.2	17.8	11.1	36.9	9.5	56.8	17.3	52.9	38.3
米子保健所	361.7	236.4	78.9	36.9	44.3	30.3	16.6	10.4	35.2	8.7	56.5	25.6	30.4	26.7
根雨支所	434.8	222.3	101.7	64.2	99.9	31.4	9.5	-	20.9	14.0	66.6	13.6	15.8	33.8
東部	409.2	224.0	102.9	40.5	41.6	23.5	21.4	10.6	38.5	15.2	70.2	14.2	34.2	22.0
中部	384.4	247.5	104.8	34.5	34.6	25.2	17.8	11.1	36.9	9.5	56.8	17.3	52.9	38.3
西部	369.4	234.8	80.1	39.6	50.5	30.1	15.9	9.4	33.2	8.9	57.8	24.5	29.2	27.6

資料 1 4 平成 1 3 年

標準化罹患比 (全国 = 1 0 0)

市町村	全部位		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県計	101.8	97.4	103.4	109.0	101.3	98.8	71.1	87.2	112.0	101.3	103.4	112.7	77.5	110.1
市計	100.3	97.6	104.7	106.4	98.5	100.8	75.9	93.2	110.3	106.3	104.7	114.6	77.1	114.4
郡計	103.7	97.0	101.8	112.4	104.7	96.3	64.8	79.6	114.2	95.4	101.8	110.5	78.1	103.8
鳥取市	111.8	98.1	119.7	120.3	104.4	114.2	93.0	95.8	105.5	139.3	119.7	81.6	72.8	96.1
米子市	93.2	102.9	92.1	101.0	104.8	127.1	46.8	108.1	85.7	84.8	92.1	135.5	81.4	117.4
倉吉市	101.1	91.6	102.1	86.9	83.6	54.7	116.9	65.6	163.1	75.8	102.1	118.8	94.7	151.0
境港市	83.6	86.2	99.4	105.3	77.2	30.5	59.9	71.6	138.5	113.8	99.4	148.7	52.6	122.1
岩美郡	80.5	114.7	74.6	125.1	57.1	118.2	61.0	189.1	93.5	259.6	74.6	114.3	72.9	24.4
岩美町	65.1	120.0	51.4	127.4	40.9	114.6	0.0	110.6	27.9	350.5	51.4	66.2	88.0	44.5
国府町	100.4	99.4	71.0	99.0	106.1	83.1	188.7	199.3	193.3	0.0	71.0	241.7	75.6	0.0
福部村	98.5	131.0	192.6	187.3	0.0	237.2	0.0	555.5	130.5	530.2	192.6	0.0	0.0	0.0
気高郡	117.5	84.9	139.4	146.0	157.0	84.8	86.8	34.1	82.8	31.0	139.4	61.2	95.6	110.2
青谷町	106.4	58.5	78.8	90.3	62.8	0.0	0.0	0.0	128.9	0.0	78.8	0.0	188.7	76.3
気高町	146.4	97.5	195.8	139.5	240.0	175.3	160.0	83.9	82.0	0.0	195.8	102.0	32.1	128.7
鹿野町	83.0	105.9	142.3	250.4	170.3	63.4	103.5	0.0	0.0	138.8	142.3	90.3	64.4	130.5
八頭郡	103.4	97.1	108.1	84.6	68.3	56.2	66.4	75.5	180.2	122.5	108.1	126.6	60.8	86.9
河原町	105.7	74.6	100.4	186.1	66.7	0.0	119.6	0.0	228.6	0.0	100.4	56.5	0.0	150.6
郡家町	124.6	111.3	89.3	28.1	118.6	35.4	105.3	169.0	364.1	156.2	89.3	154.4	31.8	127.5
智頭町	85.8	67.6	135.9	49.0	81.1	30.7	48.8	74.6	74.0	0.0	135.9	221.2	0.0	0.0
八東町	95.7	101.5	70.9	89.5	0.0	56.1	85.6	0.0	129.9	0.0	70.9	162.1	56.0	0.0
船岡町	74.4	120.6	90.0	115.8	119.5	364.0	0.0	175.8	0.0	159.3	90.0	105.6	68.8	0.0
用瀬町	100.2	96.3	89.0	120.4	0.0	75.5	0.0	0.0	163.1	0.0	89.0	109.9	69.8	0.0
若桜町	137.1	162.9	158.7	43.2	90.4	0.0	83.0	131.9	250.0	699.4	158.7	77.8	229.4	356.2
佐治村	89.3	50.9	119.3	77.9	0.0	0.0	0.0	0.0	108.6	0.0	119.3	0.0	204.7	0.0
東伯郡	97.8	102.3	115.2	107.6	73.7	116.1	36.8	116.4	73.1	74.5	115.2	90.7	115.4	185.8
赤碕町	120.8	104.2	141.9	117.4	94.1	147.2	113.1	88.8	129.0	80.4	141.9	53.1	145.6	0.0
関金町	103.7	134.1	153.2	238.0	61.2	74.4	0.0	0.0	167.7	0.0	153.2	108.0	143.9	295.1
大栄町	59.0	131.4	61.7	146.8	30.7	222.4	0.0	89.0	42.3	163.9	61.7	53.4	103.7	279.5
東郷町	80.4	91.1	79.5	188.5	118.8	95.0	71.9	0.0	109.1	104.4	79.5	0.0	46.5	186.3
東伯町	104.8	105.0	110.7	126.7	44.0	53.0	0.0	191.7	90.4	0.0	110.7	153.2	153.5	205.0
羽合町	93.2	118.2	123.7	70.5	41.0	223.8	146.3	108.2	0.0	199.4	123.7	64.2	168.1	246.2
北条町	120.9	76.7	191.0	0.0	114.3	142.6	0.0	112.3	52.3	0.0	191.0	207.7	120.8	81.7
三朝町	105.1	75.5	64.5	29.2	96.4	0.0	0.0	177.4	0.0	79.8	64.5	52.7	36.8	297.8
泊村	82.8	79.2	183.3	82.2	91.2	103.0	0.0	248.2	123.7	0.0	183.3	149.4	99.6	0.0
西伯郡	111.3	90.3	77.7	93.0	117.3	117.0	104.8	44.4	153.1	68.0	77.7	124.3	58.8	35.8
会見町	142.9	61.6	105.0	64.7	278.0	324.4	368.9	0.0	188.7	180.7	105.0	0.0	0.0	0.0
岸本町	136.2	74.0	103.6	117.5	82.4	148.4	0.0	0.0	281.6	0.0	103.6	0.0	42.6	0.0
西伯町	117.6	99.1	83.8	117.6	100.0	73.8	178.1	88.9	0.0	81.5	83.8	265.9	107.1	0.0
大山町	114.3	64.4	58.5	36.4	116.4	91.4	139.3	0.0	320.1	100.1	58.5	131.8	44.4	0.0
名和町	68.8	74.3	32.2	28.3	32.0	71.2	0.0	87.3	175.4	77.8	32.2	0.0	154.5	0.0
中山町	95.7	126.3	118.3	230.0	94.4	115.5	85.7	139.1	65.5	0.0	118.3	83.3	0.0	117.0
淀江町	136.4	121.4	95.1	88.0	189.2	73.7	111.9	0.0	129.4	81.9	95.1	213.7	34.1	137.4
日吉津村	62.9	89.1	0.0	94.8	109.9	239.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	347.2	0.0	0.0
日野郡	114.0	90.4	94.2	176.6	229.5	73.4	38.2	0.0	57.4	52.5	94.2	140.7	40.3	139.0
江府町	97.8	116.2	116.1	327.5	173.2	68.1	0.0	0.0	79.2	0.0	116.1	0.0	72.6	299.4
日南町	138.8	99.4	86.6	163.3	403.1	135.1	53.4	0.0	39.6	71.7	86.6	194.3	39.1	163.0
日野町	110.5	68.0	122.8	138.4	48.9	0.0	0.0	0.0	66.9	0.0	122.8	0.0	0.0	127.4
溝口町	91.8	78.1	64.4	119.0	171.5	49.8	77.9	0.0	59.1	107.8	64.4	285.6	53.1	0.0
鳥取保健所	107.9	98.8	115.7	124.8	104.8	110.6	87.4	101.4	100.5	142.4	115.7	83.7	75.7	87.9
郡家支所	103.4	97.1	108.1	84.6	68.3	56.2	66.4	75.5	180.2	122.5	108.1	126.6	60.8	86.9
倉吉保健所	99.1	97.8	109.8	99.0	77.7	90.7	69.6	95.3	109.8	75.0	109.8	102.4	106.6	171.0
米子保健所	96.4	96.9	89.5	99.6	103.6	108.7	63.9	85.5	111.9	84.9	89.5	134.6	71.3	98.8
根雨支所	114.0	90.4	94.2	176.6	229.5	73.4	38.2	0.0	57.4	52.5	94.2	140.7	40.3	139.0
東部	106.8	98.4	113.8	114.9	95.8	97.2	82.3	95.1	120.0	137.4	113.8	94.4	72.4	87.7
中部	99.1	97.8	109.8	99.0	77.7	90.7	69.6	95.3	109.8	75.0	109.8	102.4	106.6	171.0
西部	98.5	96.2	90.1	108.6	118.5	104.5	61.0	75.7	105.6	80.9	90.1	135.3	68.3	102.5

資料15 平成13年
標準化死亡比(全国=100)

	総数		胃		結腸		直腸		肝臓		肺		乳房	子宮
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	女	女
県 計	101.1	95.3	95.2	102.5	103.2	101.8	97.9	105.9	117.4	87.0	95.4	102.4	62.0	110.0
鳥取市	112.8	103.4	119.9	140.4	96.5	106.5	123.2	87.5	91.0	91.5	127.1	95.9	71.1	96.1
米子市	99.0	89.1	92.9	80.5	116.6	117.9	78.2	120.8	113.1	67.0	87.8	94.0	62.3	111.2
倉吉市	109.3	100.4	110.7	144.8	84.2	105.2	251.0	162.5	159.4	51.8	77.6	96.5	92.2	116.6
境港市	99.2	105.3	98.0	80.1	76.5	23.4	40.7	185.1	147.9	131.2	54.9	148.8	64.7	229.5
岩美郡	87.4	115.2	63.0	160.8	32.7	87.7	53.8	-	142.9	229.7	129.0	93.1	44.8	-
岩美町	107.9	115.8	90.0	174.5	-	101.2	96.6	-	95.6	340.5	193.8	-	-	-
国府町	55.6	105.7	-	127.5	101.9	93.0	-	-	167.0	-	30.9	223.0	140.8	-
福部村	76.9	140.1	108.5	189.4	-	-	-	-	305.8	311.5	87.1	220.3	-	-
気高郡	112.3	94.3	104.9	85.9	203.5	124.7	-	169.2	94.8	105.6	82.5	49.7	49.8	82.0
青谷町	127.1	61.1	101.8	57.9	264.1	-	-	457.7	98.3	93.6	79.9	-	-	-
気高町	136.0	122.5	99.8	108.8	173.0	317.5	-	-	141.4	177.5	131.2	63.0	118.8	202.8
鹿野町	43.0	99.3	120.5	92.6	156.5	-	-	-	-	-	-	107.9	-	-
八頭郡	106.6	111.6	68.3	76.9	88.3	83.6	74.1	112.6	205.8	154.7	107.1	143.9	44.2	145.9
河原町	156.2	108.9	109.8	181.6	-	88.0	158.7	-	366.9	97.4	85.8	-	136.4	227.8
郡家町	157.6	148.4	98.4	54.9	255.8	80.3	-	432.9	373.5	179.4	77.9	190.7	119.2	205.3
智頭町	62.9	91.9	29.4	93.4	152.2	-	-	-	127.2	-	69.2	215.3	-	-
八東町	99.5	117.1	101.6	-	-	125.6	223.7	-	74.3	-	118.8	199.4	-	-
船岡町	34.8	101.2	-	112.0	-	325.7	-	-	-	182.8	51.4	130.2	-	-
用瀬町	102.2	71.6	63.8	-	166.4	176.7	-	-	93.7	-	199.4	275.5	-	-
若桜町	102.0	187.4	47.7	83.1	-	-	213.2	328.9	284.1	796.8	148.2	94.9	-	653.6
佐治村	105.3	-	84.3	-	-	-	-	-	123.8	-	198.4	-	-	-
東伯郡	82.1	83.3	101.6	80.5	68.5	95.6	57.5	115.2	83.8	72.5	87.2	93.4	83.8	139.1
赤碕町	84.7	76.4	169.3	112.5	-	81.5	147.7	-	99.3	91.8	53.5	64.7	131.9	-
関金町	106.2	105.4	199.1	118.8	-	-	-	-	192.5	-	104.0	-	-	448.4
大栄町	76.4	84.8	65.6	-	-	162.7	143.7	222.2	48.7	187.1	78.5	-	127.4	213.2
東郷町	45.3	76.0	42.3	143.3	109.5	208.1	-	-	125.2	-	66.3	-	-	-
東伯町	85.2	73.1	71.7	80.6	123.8	-	-	159.0	69.1	-	93.9	233.3	92.9	-
羽合町	88.9	90.1	136.5	130.3	-	284.6	196.5	-	-	113.9	107.5	77.0	155.0	256.4
北条町	88.8	89.0	82.9	74.6	215.3	-	-	291.5	121.0	-	99.1	259.7	-	-
三朝町	85.7	75.2	68.5	55.1	88.4	-	-	-	-	182.3	107.7	-	-	216.0
泊 村	89.7	119.9	201.8	-	-	233.1	-	641.0	286.9	-	79.5	184.2	370.4	628.9
西伯郡	97.7	81.9	64.0	37.3	105.5	121.6	125.0	73.2	125.6	30.9	78.2	118.9	42.3	106.0
会見町	96.6	75.5	-	126.3	202.4	183.8	-	-	220.0	208.8	-	-	274.0	-
岸本町	122.9	80.7	92.3	-	-	339.4	-	-	196.2	-	72.6	89.5	-	-
西伯町	91.7	75.5	36.8	-	96.0	80.1	157.7	-	-	-	116.3	193.1	-	213.2
大山町	127.5	105.7	126.1	140.8	218.3	-	183.2	-	306.4	113.9	66.2	161.7	161.0	268.1
名和町	73.5	23.8	68.5	-	-	74.3	150.6	-	50.4	-	108.0	60.1	-	-
中山町	97.8	93.6	149.1	89.2	128.5	-	221.2	352.1	74.8	-	78.4	-	-	341.3
淀江町	87.0	128.1	-	-	90.8	248.1	149.5	-	99.6	-	27.6	131.8	-	-
日吉津村	89.4	82.7	-	-	334.4	-	-	740.7	174.5	-	201.2	431.0	-	-
日野郡	94.9	75.9	88.6	185.4	229.0	106.6	97.8	-	32.4	29.7	85.8	84.9	-	-
江府町	33.1	15.8	-	-	160.5	151.1	-	-	90.2	-	-	-	-	-
日南町	129.5	109.1	121.1	308.8	470.2	147.5	135.7	-	-	-	69.8	117.4	-	-
日野町	65.7	92.9	52.7	176.2	136.6	127.1	-	-	-	142.0	82.3	-	-	-
溝口町	113.7	56.7	136.9	149.1	-	-	201.2	-	67.1	-	176.7	172.3	-	-
鳥 取	108.9	103.9	109.2	135.5	102.3	106.1	95.6	85.6	99.2	115.6	120.8	88.6	64.5	79.5
郡 家	106.6	111.6	68.3	76.9	88.3	83.6	74.1	112.6	205.8	154.7	107.1	143.9	44.2	145.9
倉 吉	93.1	90.3	105.3	107.1	74.8	99.5	136.2	134.6	114.5	63.9	83.4	94.6	87.3	129.6
米 子	98.7	89.8	86.0	68.6	107.3	103.9	84.3	118.2	121.9	67.4	80.0	109.5	57.7	128.6
根 雨	94.9	75.9	88.6	185.4	229.0	106.6	97.8	-	32.4	29.7	85.8	84.9	-	-

参考資料 1

鳥取県がん登録事業実施要綱

(趣旨)

第 1 条 この要綱は、鳥取県がん登録事業（以下「がん登録」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

(事業の目的)

第 2 条 がん登録は、本県における悪性新生物患者の疫学及び診療面での実態を把握するため、悪性新生物の登録を行い、もって悪性新生物予防対策推進上の基礎資料とし、県民の保健衛生の向上に寄与することを目的とする。

(事業の実施)

第 3 条 がん登録は、県が鳥取県健康対策協議会（以下「健対協」という。）に委託して実施する。

(登録の対象)

第 4 条 がん登録は、次に掲げる者（以下「登録対象者」という。）について行う。

(1) 県内居住者で次に掲げる疾患（良性と明記されていない脳腫瘍及び内分泌腫瘍を含む。）と診断又は疑診された者

ア 悪性新生物

イ 上皮内癌

ウ 性質不詳の新生物

(2) 県内居住者で死亡した者のうち、人口動態調査（昭和22年指定統計第5号）死亡小票（以下「死亡小票」という。）のいずれかの欄に悪性新生物又は性質不詳の新生物の記載のある者

(登録事項)

第 5 条 がん登録は、登録対象者に係る次に掲げる事項（以下「登録事項」という。）について登録する。

(1) 氏名

(2) 性別

(3) 生年月日

(4) 現住所

(5) 診断名

(6) 病理組織診断名

(7) 病巣の拡がり

(8) 初診年月日

(9) 症状初発年月

(10) 受診の動機

(11) 診断・疑診年月日

(12) 診断根拠

(13) 治療方法

(14) 生存状況

(登録の方法)

第 6 条 がん登録は、次により行う。

(1) 届出票による登録

ア 健対協は、医療機関に対し、患者が登録対象者に該当するときは、届出票（様式第1号）の提出を求めることができるものとする。

イ 健対協は、提出された届出票について記入漏れ、重複の有無、疑義又は不明事項の有無等を確認し、必要に応じて届出した医療機関に問い合わせるものとする。この場合、健対協は、当該医療機関に対し、問合せ票（様式第2号）の提出を求めることができるものとする。

ウ 健対協は、登録対象者に係る登録事項を記入するための冊子又は電子媒体（以下「腫瘍登録簿」という。）を作成し、確認済の届出票の内容を腫瘍登録簿に登録するものとする。

(2) 死亡小票による登録

ア 県は、管内保健所から死亡小票の写しの提供を受け、健対協に送付するものとする。

イ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、登録済の登録対象者の死亡が確認された場合は、その旨を腫瘍登録簿に登録するものとする。

ウ 健対協は、腫瘍登録簿と死亡小票を照合して、死亡小票に未登録の登録対象者が記載されていた場合は、当該登録対象者を腫瘍登録簿に登録するものとする。この場合、死亡診断書を作成した医療機関に対し、当該登録対象者に係る補充票（様式第3号）の提出を求めることができるものとする。

(予後の調査)

第7条 健対協は、登録済の登録対象者の生死の状況を確認するため、医療機関に対し必要に応じて追跡票（様式第4号）の提出を求めることができるものとする。

2 前条第1号イ及びウの規定は、前項の規定による予後の調査をする場合について準用する。

(解析及び評価)

第8条 健対協は、第6条及び第7条による登録に基づき解析及び評価を行い、罹患率その他の数値を算出するものとする。

(結果の報告)

第9条 健対協は、前条による結果並びに第6条及び第7条による登録の状況を毎年1回以上県に報告するものとする。

2 健対協は、前項の報告の提出に当たって、当該報告に係る疾病の予防対策、患者の管理対策等について意見を付することができる。

(結果の公表)

第10条 県は、第8条による結果を、毎年、速やかに公表するものとする。

(利用及び提供の制限)

第11条 がん登録に従事する者は、届出票その他のがん登録に係る情報の取扱いを厳重に行うとともに、第2条に掲げる目的以外の目的のために登録対象者に係る登録事項をがん登録に従事する者において利用し、又はがん登録に従事する者以外の者に提供してはならない。ただし、疫学研究への活用等提供することに公益上の必要その他相当な理由があると県が認めるときは、この限りでない。

(情報の提供)

第12条 県は、前条ただし書の規定により登録対象者に係る登録事項を提供しようとするときは、提供を受ける者に対し、鳥取県個人情報保護事務取扱要綱（平成11年9月29日付鳥取県総務部長通知）に定める個人情報提供申請書のほか、次に掲げる書類のいずれかを提出させるものとする。

(1) 承認済の倫理審査申請書

(2) 承認済の研究計画書その他前号に準ずる書類

(雑則)

第13条 この要綱に定めるもののほか、がん登録の実施について必要な事項は、福祉保健部長が別に定める。

附 則

1 この要綱は、平成17年5月26日から施行し、平成17年度事業から適用する。

2 成人病登録実施要綱は、廃止する。

会 員 各 位

鳥取県医師会
鳥取県健康対策協議会
会長 長 田 昭 夫

鳥取県がん登録の届出協力依頼

ご承知の通り、がん死亡は未だトップで、しかも増加傾向にあります。そのため昨年度より第3次対がん総合戦略研究事業が開始され、がん予防・研究・治療に果たすがん登録の役割は益々重要になってきております。「登録なくして評価なし」といわれますように、がん登録の必要性と意義および公益性を理解していただき、がん登録の届出の役割を十二分に認識していただきたく存じます。

全国的には、鳥取県のがん登録精度は非常に不満足な状況にあります。鳥取県医師会としましては、がん登録事業に積極的に参加することを県民の健康を守る医療人としての重大な責務の一つと考えております。会員各位のご尽力を切にお願いします。つきましては、下記の要領で届出票の提出をお願いいたします。

記

1. 届出票の記入・提出要領について

貴院を受診された患者のうち、悪性新生物、上皮内癌ならびに性質不詳の新生物と診断または疑診された方々につきまして、同封の届出票の諸項目にご記入の上、添付の封筒にてご返送下さい。

1. 貴院における治療終了時

入院患者:新発生のがんに対する一連の治療が終了した時、または退院時

外来患者:(1)外来治療終了時、(2)検査・治療のために他院に紹介した時

2. 多重がんの診断時(各々の部位について別々に届出票を作成)

なお、貴院で既に新発生のがんの届出をした者の再発例または追加治療の届出は不要です。

本年度は、別添の通り、届出票の見直しにより届出票が大幅に改正されました。

諸項目内容と場所の変更がありますのでご注意ください。詳細については、「鳥取県がん登録届出票記入要領」を参考にしてご記入下さい。

なお、提出にあたっては、古い届出票は廃棄して頂き、新しい届出票にご記入の上、ご送付下さい。

2. がん登録事業へのがん患者情報の提供について

本年4月1日付けで全面施行された個人情報保護法において、地域がん登録事業へ本人の同意なしで氏名や住所等のがん患者情報を提供することは、法的に全く問題ありません。法第16条によって利用目的による制限の例外として認められています。

※同封の「鳥取県がん登録届出票記入要領」は引き続き保管の上、今後の届出票記入にあたって、ご参照下さるようお願いいたします。

参考資料 3

カルテ番号

様式 1 号



鳥取県がん登録届出票

(1) 届出機関名・所在地 ・名称 _____	
(2) 患者氏名： ふりがな (_____) (姓 _____ 名 _____)	(3) 性別： 1. 男 2. 女
(4) 生年月日： 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
(5) 現住所： 鳥取 _____ 市 _____ 町 _____ 番地 _____ 県 _____ 郡 _____ 村 _____ 番 _____ 号	
(6) 診断名： _____ 腫瘍占居部位 _____ 1. 原発 2. 続発 (原発巣 _____) 3. 不明 1. 確診 2. 疑診	
(7) 病理組織診断名： (_____) ※例：「扁平上皮癌」 「高分化腺癌」など	
(8) 病巣の拡がり： 1. 上皮内 2. 当該臓器に限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明	
(9) 初診年月日： 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	(10) 症状初発年月： 平 _____ 年 _____ 月頃
(11) 受診の動機： 1. 有訴受診 2. 健康診断(人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他	
(12) 診断・疑診年月日： 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
(13) 診断根拠： 前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。 1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー 5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ	
(14) 治療方法： 該当するものの番号には○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。 1. 外科的手術 (腹腔鏡手術を含む) } ⇨ a. 治癒切除 b. 非治癒切除 2. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む) } 3. 放射線療法 4. 化学療法 5. ホルモン療法 6. 免疫療法 7. 対症療法のみ 8. その他 (TAE、PEIT、ラジオ波、温熱、レーザー焼灼、MCT/MCNT、骨髄移植 _____)	
(15) 生存状況： 1. 生存中 (最終生存確認年月日：平 _____ 年 _____ 月 _____ 日) 2. 死亡 (死亡年月日：平 _____ 年 _____ 月 _____ 日) ⇨ 死因 a. がん死 b. 他病死 3. 不明	
(16) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合は、その医療機関名を記載下さい。 _____	(17) 患者を他機関に紹介された場合はその医療機関名を記載して下さい。 _____

この欄は記入しないで下さい。	※ 受付年月日： _____
	※ 受付番号： NO.
	※ 登録番号： NO.

参考資料 3

カルテ番号

様式 2 号



鳥取県がん登録問合せ票

(1) 届出機関名・所在地

・名称 _____

ふりがな (_____)
(姓 名)

(2) 患者氏名:

(3) 性別: 1. 男 2. 女

(4) 生年月日: 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(5) 現住所: _____ 鳥取 _____ 市 _____ 町 _____ 番地
_____ 県 _____ 郡 _____ 村 _____ 番 _____ 号

(6) 診断名: _____ 腫瘍占居部位 _____
1. 原発 2. 続発 (原発巣 _____) 3. 不明
1. 確診 2. 疑診

(7) 病理組織診断名: (_____) ※例: 「扁平上皮癌」
「高分化腺癌」など

(8) 病巣の拡がり: 1. 上皮内 2. 当該臓器に限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明

(9) 初診年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日 (10) 症状初発年月: _____ 年 _____ 月頃

(11) 受診の動機: 1. 有訴受診 2. 健康診断(人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他

(12) 診断・疑診年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日

(13) 診断根拠: 前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。

1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー
5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ

(14) 治療方法: 該当するものの番号には○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。

1. 外科的手術 (腹腔鏡手術を含む) } ⇨ a. 治癒切除 b. 非治癒切除
2. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む) }
3. 放射線療法 4. 化学療法 5. ホルモン療法 6. 免疫療法 7. 対症療法のみ
8. その他(TAE、PEIT、ラジオ波、温熱、レーザー焼灼、MCT/MCNT、骨髄移植 _____)

(15) 生存状況:

1. 生存中 (最終生存確認年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日)
2. 死亡 (死亡年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日) ⇨ 死因 a. がん死 b. 他病死
3. 不明

(16) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合は、その医療機関名を記載下さい。

(17) 患者を他機関に紹介された場合はその医療機関名を記載して下さい。

この欄は記入しないで下さい。

※ 受付年月日: _____

※ 受付番号: NO. _____

※ 登録番号: NO. _____

参考資料 3

カルテ番号

様式 3 号

秘

鳥取県がん登録補充票

(1) 届出機関名・所在地

・名称

ふりがな

(姓

名)

(2) 患者氏名:

(3) 性別: 1. 男 2. 女

(4) 生年月日: 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 年 月 日

(5) 現住所: 鳥取 市 町 番地
県 郡 村 番 号

(6) 診断名: 腫瘍占居部位
1. 原発 2. 続発 (原発巣) 3. 不明
1. 確診 2. 疑診

(7) 病理組織診断名: () ※例: 「扁平上皮癌」
「高分化腺癌」など

(8) 病巣の拡がり: 1. 上皮内 2. 当該臓器に限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明

(9) 初診年月日: 平 年 月 日 (10) 症状初発年月: 平 年 月頃

(11) 受診の動機: 1. 有訴受診 2. 健康診断(人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他

(12) 診断・疑診年月日: 平 年 月 日

(13) 診断根拠: 前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。
1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー
5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ

(14) 治療方法: 該当するものの番号には○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。
1. 外科的手術 (腹腔鏡手術を含む) } ⇨ a. 治癒切除 b. 非治癒切除
2. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む) }
3. 放射線療法 4. 化学療法 5. ホルモン療法 6. 免疫療法 7. 対症療法のみ
8. その他 (TAE、PEIT、ラジオ波、温熱、レーザー焼灼、MCT/MCNT、骨髄移植)

(15) 生存状況:
1. 生存中 (最終生存確認年月日: 平 年 月 日)
2. 死亡 (死亡年月日: 平 年 月 日) ⇨ 死因 a. がん死 b. 他病死
3. 不明

(16) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合は、その医療機関名を記載下さい。

(17) 患者を他機関に紹介された場合はその医療機関名を記載して下さい。

この欄は記入しないで下さい。

※ 受付年月日: _____

※ 受付番号: NO. _____

※ 登録番号: NO. _____

秘

鳥取県がん登録追跡票

(1) 届出機関名・所在地 ・名称 _____	
(2) 患者氏名： ふりがな (_____) (姓 _____ 名 _____)	(3) 性別： 1. 男 2. 女
(4) 生年月日： 1. 明 2. 大 3. 昭 4. 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
(5) 現住所： _____ 鳥取 _____ 市 _____ 町 _____ 番地 _____ 県 _____ 郡 _____ 村 _____ 番 _____ 号	
(6) 診断名： _____ 腫瘍占居部位 _____ 1. 原発 2. 続発 (原発巣 _____) 3. 不明 1. 確診 2. 疑診	
(7) 病理組織診断名： (_____) ※例：「扁平上皮癌」「高分化腺癌」など	
(8) 病巣の拡がり： 1. 上皮内 2. 当該臓器に限局 3. 所属リンパ節転移 4. 隣接臓器浸潤 5. 遠隔転移 6. 不明	
(9) 初診年月日： _____ 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	(10) 症状初発年月： _____ 平 _____ 年 _____ 月頃
(11) 受診の動機： 1. 有訴受診 2. 健康診断(人間ドック等) 3. 各種がん検診 4. 他疾患治療中 5. その他	
(12) 診断・疑診年月日： _____ 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
(13) 診断根拠： 前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。 1. 原発巣の組織診 2. 転移巣の組織診 3. 細胞診 4. 部位特異的な腫瘍マーカー 5. 臨床検査 6. 臨床所見のみ	
(14) 治療方法： 該当するものの番号には○、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。 1. 外科的手術 (腹腔鏡手術を含む) } ⇨ a. 治癒切除 b. 非治癒切除 2. 内視鏡手術 (ポリペクトミーを含む) } 3. 放射線療法 4. 化学療法 5. ホルモン療法 6. 免疫療法 7. 対症療法のみ 8. その他(TAE、PEIT、ラジオ波、温熱、レーザー焼灼、MCT/MCNT、骨髄移植 _____)	
(15) 生存状況： 1. 生存中 (最終生存確認年月日： _____ 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日) 2. 死亡 (死亡年月日： _____ 平 _____ 年 _____ 月 _____ 日) ⇨ 死因 a. がん死 b. 他病死 3. 不明	
(16) 患者が貴院受診前に他機関を訪れている場合は、その医療機関名を記載下さい。 _____	(17) 患者を他機関に紹介された場合はその医療機関名を記載して下さい。 _____

この欄は記入しないで下さい。	※ 受付年月日： _____
	※ 受付番号： NO. _____
	※ 登録番号： NO. _____

参考資料4

鳥取県がん登録届出票記入要領

(2005年6月改訂版)

※届出票の様式を改訂しました。古い届出票は廃棄し、新届出票をご利用下さい。

- 届出対象住所 : 鳥取県内在住者(他府県住所の患者は、届出があっても登録・集計に含めない)
同上 疾患 : 全悪性新生物(上皮内がんを含む)または頭蓋内の新生物(良性及び性状不詳の新生物を含む)
- 届出票の提出 : 1. 貴院における治療終了時
入院患者:新発生のがんに対する一連の治療が終了した時、または退院時
外来患者:(1)外来治療終了時、(2)検査・治療のために他院に紹介した時
2. 多重がんの診断時(各々の部位について別々に届出票を作成)

なお、再通知の場合は、**最低(1)~(6)**の項目と**追加・訂正・更新のあった項目**のみの記入でも構いません。

記入に際しましては、できるだけ分かりやすい表記をお願いします。

また、貴院で既に新発生のがんの届出をした者の再発例の届出は不要です。

必須項目(1)~(6)

- (1)届出機関・所在地・名称 : 貴病院・医院・診療所の所在地と名称を記入して下さい。
レセプトなどに使用されるスタンプでも構いません。
- (2)患者氏名 : 氏名には必ず正しいふりがなを付けて下さい。
(個人情報取扱いには、細心の注意を払っております)。
- (3)性別 : 該当する番号を○で囲んで下さい。
- (4)生年月日 : 和暦で生年月日を記入。元号は、該当する番号を○で囲み、年月日を記入して下さい。
この項は、登録照合の第1指標として活用されますので、お書き間違えのないようお願いいたします。
- (5)現住所 : 県内居住者は市・郡からお書き下さい。市・郡、町・村の文字は該当するものを○で囲んで下さい。
注)受診のために仮の住所に滞在されている場合は、本来の住所を記入して下さい。
- (6)診断名 : 診断名中には分類のため腫瘍発生の臓器を示して下さい。
例:胃の噴門部、胃U、S状結腸、上行結腸、右乳房外上など
なお、明確に悪性を示す言葉のない診断名(例-膀胱腫瘍)の場合、もし悪性であることが判明していれば、悪性の言葉を頭に付けて下さい。悪性の言葉がないと、性状不詳の新生物に分類されます。
また、上皮内癌の症例には上皮内癌、再発の症例には再発とお書き添え下さい。

◎腫瘍占居部位 : 診断名に示された臓器内の腫瘍の占居部位は可能な限り書いて下さい。

例 : 診断名:胃がん→**腫瘍占居部位:噴門部**、診断名:膀胱がん→**腫瘍占居部位:尿管口**

診断名:肺がん→**腫瘍占居部位:上葉**、診断名:乳がん→**腫瘍占居部位:C(外側上部)**

原発・続発・不明 : 診断名に記載された腫瘍の該当する番号を○で囲んで下さい。

続発性の場合には、原発巣を記入して下さい。

確診・疑診 : 貴医療機関における判断により、該当する番号を○で囲んで下さい。

※コード化しますので略語の利用は避けて、できるだけ読みやすい表記をお願いします。

※多重がんの場合は、各々のがんについて別々に届出票を作成して下さい。

◎(7)病理組織診断名：病理組織検査による診断名《組織型》を記入して下さい。

例：扁平上皮癌、高分化型腺癌、低分化型管状腺癌、移行上皮癌、硬性腺癌、肝細胞癌
※病理組織所見(肺の腺癌・扁平上皮癌、胃の低分化腺癌、B細胞慢性リンパ性白血病、など)がますます重要になっていますので、病理組織型<分化度、リンパ腫・白血病の免疫学的表現型を含め>を漏れなく記入して下さい。できるだけ読みやすい表記をお願いします。

(8)病巣の拡がり：悪性新生物と診断された病巣の拡がりについて該当する番号を○で囲んで下さい。

1.上皮内 2.当該臓器に限局 3.所属リンパ節転移 4.隣接臓器浸潤 5.遠隔転移 6.不明

(9)初診年月日：(6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を最初に受診した年月日を記入して下さい。

(10)症状初発年月：(6)診断名に記載の腫瘍によると思われる患者の症状の初発年月を記入して下さい。
不明は空欄にする。

(11)受診の動機：腫瘍の発見の経緯を把握するための項目。該当する番号を○で囲んで下さい。

1.有訴受診 2.健康診断(人間ドック等) 3.各種がん検診 4.他疾患治療中 5.その他

(12)診断・疑診年月日：貴医療機関が、患者を(6)診断名に記載の腫瘍と診断または疑診(記入時点でなお疑診に留まっている場合)の年月日を記入して下さい。

(13)診断根拠：前医の情報も含めて診断の根拠とした検査を、数字の小さい方を優先して一つだけ記入して下さい。

1. 原発巣の組織診…白血球の骨髓穿刺は、この項に含む。
2. 転移巣の組織診。
3. 細胞診…喀痰、尿沈渣、腔分泌物などによる剥離細胞診、TV ブラッシ、ファイバースコープなどによる擦過あるいは吸引細胞診、洗滌細胞診を含む。白血病及び悪性リンパ腫の一般血液検査も、この項に含む。
4. 部位特異的な腫瘍マーカー…絨毛癌のHCG、前立腺がんのPSA、肝がんのAFP、神経芽細胞腫のHVA・VMA、など。
5. 臨床検査…X線、CT、MRI、RI、PET、超音波などの画像診断、内視鏡。組織診、細胞診を伴わない試験開腹・開胸・解剖。CEAなどの非特異的腫瘍マーカー、など。
6. 臨床所見のみ…上記1-5を伴わない視触診。

(14)治療方法：貴医療機関が実施された治療方法の番号を○で囲んで下さい。

なお、最も中心となっている治療方法に、1つだけ◎を付けて下さい。

- | | | |
|---------------------|--|-------------------|
| 1.外科的手術(腹腔鏡手術を含む) | } → 治療結果： | a.治癒切除、b.非治癒切除 |
| 2.内視鏡手術(ポリペクトミーを含む) | | の該当する番号を○で囲んで下さい。 |
| 3.放射線療法 …… | 放射線治療。主治療の他、術前術後照射も含む。 | |
| 4.化学療法 …… | 抗がん剤投与。術中投与も含む。肝がんのTAIは、ここに含める。 | |
| 5.ホルモン療法 …… | ホルモン剤投与。自己のホルモン分泌を制御するための摘除術、あるいは放射線照射 | |
| 6.免疫療法 …… | 悪性腫瘍に対する自己免疫を強化する目的で行われるBCGなどの投与。 | |
| 7.対症療法のみ …… | 1.~5.、および7.以外の治療方法を行わず、対症療法のための治療。 | |
| 8.その他 …… | 前1.~6.以外の治療方法で、該当する治療法を○で囲んで下さい。 | |

その他、それ以外の治療をした場合にはその治療名を記入して下さい。

TAE …肝動脈塞栓療法。

PEIT …経皮的エタノール注入法。

ラジオ波

温熱 … 病巣に対して行った温熱療法。

レーザー焼灼 … レーザー光線によるがん病巣の焼灼。

MCT/MCNT(Microwave coagulation necrosis therapy) …マイクロ波 凝固壊死療法。

骨髄移植

(15)生存状況 : 貴医療機関が確認している最新の患者の状態について、該当する番号を○で囲んで下さい。なお、生存中の場合には、最終生存確認年月日を、死亡の場合には、死亡年月日および死亡原因を記入して下さい。

1.生存中 2.死亡 3.不明



死因 a.がん死 b.他病死

(16)前医療機関 : (6)診断名に記載の腫瘍のために、患者が貴医療機関を受診する前に受診した医療機関があれば、その医療機関名を書いて下さい。

(17)紹介医療機関 : (6)診断名に記載の腫瘍のために、患者を他の医療機関に紹介された場合には、その医療機関名を書いて下さい。

[問い合わせ先]

1. 届出票・専用封筒の請求
2. 届出票の記載方法

いずれも、鳥取県医師会内 鳥取県健康対策協議会事務局へ。

電話:0857-27-5566 Fax:0857-29-1578

〒680-8585 鳥取市戎町 317 番地

病理組織略語表

Malignant Tumor 届出票の病理組織を記入時に参照してください。

部位共通

病理組織名	略語
腺がん	ad.ca.
管状腺がん	tub
高分化型管状腺がん	tub1
中分化型管状腺がん	tub2
低分化型管状腺がん	tub3
印環細胞がん	sig
粘液がん	muc
乳頭腺がん	pap
扁平上皮がん	sq.C.C.
腺扁平上皮がん	asc
肝細胞がん	HCC
胆管細胞がん	CCC
腎細胞がん	RCC
未分化がん	ud
小細胞がん	SmCC
移行上皮がん	TCC
基底細胞がん	BCC
上皮内がん	CIS

部位固有

乳がん

病理組織名	略語
乳頭腺管がん	Pap tub
充実腺管がん	Solid tub
硬がん	Sci

胃がん・大腸がん・前立腺がん

病理組織名	略語
低分化腺がん	por,por1,por2

リンパ腫・白血病

病理組織名	略語
悪性リンパ腫	ML
非ホジキンリンパ腫	NHL
急性リンパ芽球性白血病	ALL
急性骨髄性白血病	AML
慢性リンパ球性白血病	CLL
慢性骨髄性白血病	CML
成人 T 細胞白血病	ATL

白血病の FAB 分類

L1 ~3, M0 ~7

分化度

病理組織名	略語
Well differentiated	W/D ,Well diff
Moderately differentiated	M/D ,Mod diff
Poorly differentiated	P/D ,Poorly diff
Undifferentiated	Undiff

公開資料一覧



A. 罹患・死亡統計

- 1. 鳥取県がん罹患率
- 2. 罹患数の年次推移
- 3. 罹患割合の比較
- 4. 罹患割合の年次推移
- 5. 罹患率の年次推移
- 6. 罹患率と死亡率の年次推移
- 7. 罹患率と死亡率の全国比較
- 8. 地域別の年齢調整罹患率
- 9. 年齢階級別がん罹患の推移(対数)
- 10. 年齢階級別がん罹患の推移(実数)
- 11. 年齢階級別罹患構成比の年次比較

鳥取県
がん登録



現在、最新データを追加して試験的に運用しています。更新日:2005.12.20(Tue)

公開している統計資料は次のとおりです。本ホームページは、鳥取大学医学部環境予防医学分野(旧衛生学教室)で管理しています。内容等についてのご意見は、

疫学研究室2 canreg@grape.med.tottori-u.ac.jp

までお寄せ下さい。

A. 罹患・死亡統計 (1979~2001年)

なお、2001年の標準集計には例年該当年を含めた3年平均:2000年(1999-2001)の全国推定罹患率が使用されるが、2001年の全国罹患推計は諸般の都合でとりやめになったため、1999年(1998-2000)の全国推定罹患率を用いて年齢調整罹患率および標準化罹患比を算出した。

- 1. 鳥取県がん罹患率(部位別・年齢別階級別)
- 2. 罹患数・死亡数の年次推移
- 3. 部位別罹患割合の比較
- 4. 部位別罹患割合の年次推移
- 5. 年齢調整罹患率の年次推移
- 6. 罹患率と死亡率の年次推移
- 7. 罹患率と死亡率の全国比較



[地域がん登録全国協議第14回総会研究会プログラム](#)

[地域がん登録全国協議第15回総会研究会開催予定](#)

★国内のがん登録へのリンク

[大阪府立がん登録\(大阪府立成人病センター調査部\)](#)

[愛知県がん登録\(愛知県衛生部保健予防課\)](#)

[沖縄県がん登録\(沖縄県衛生環境研究所疫学情報室\)](#)

[国立がんセンター](#)

★諸外国のがん登録へのリンク

[米国SEERプログラム](#)

[世界がん登録機構\(IACR\)](#)

[世界対がん連合\(UICC\)](#)

[国際がん研究機構\(IARC\)](#)

[米国 National Cancer Institute](#)

[鳥取県のホームページ](#)

[鳥取県の統計](#)

[鳥取県福祉保健部のホームページ](#)

[鳥取県医師会のホームページ](#)

図3-1 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(男)

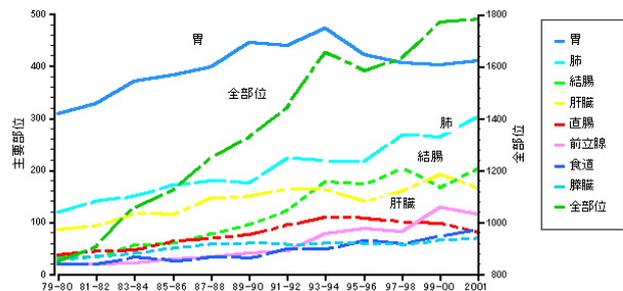
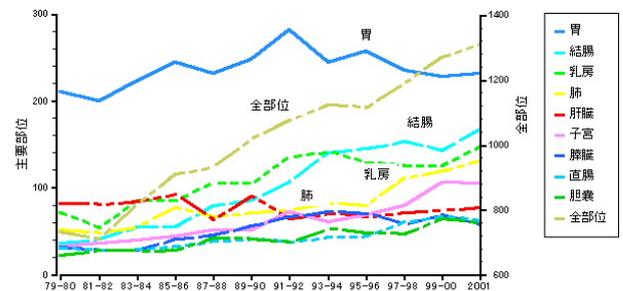
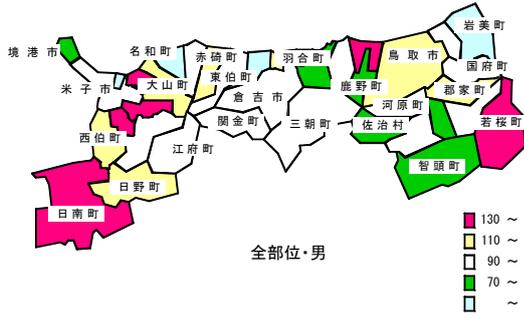


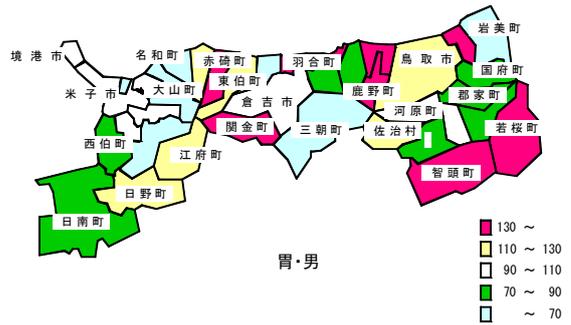
図3-2 鳥取県における部位別がん罹患数の年次推移(女)



市町村別標準化罹患比—2001—



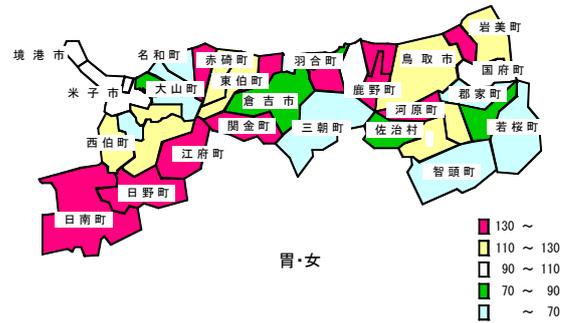
市町村別標準化罹患比—2001—



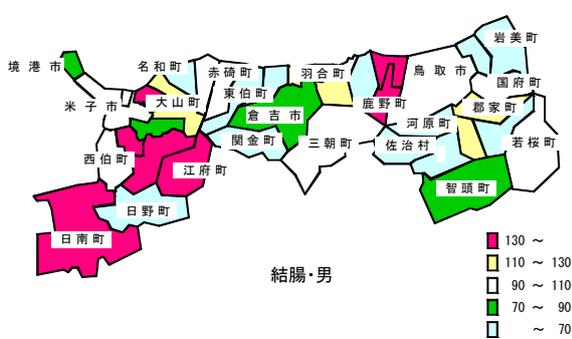
市町村別標準化罹患比—2001—



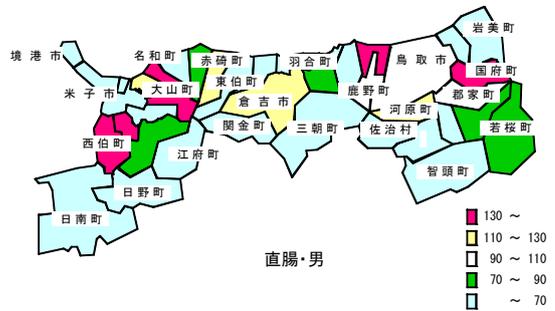
市町村別標準化罹患比—2001—



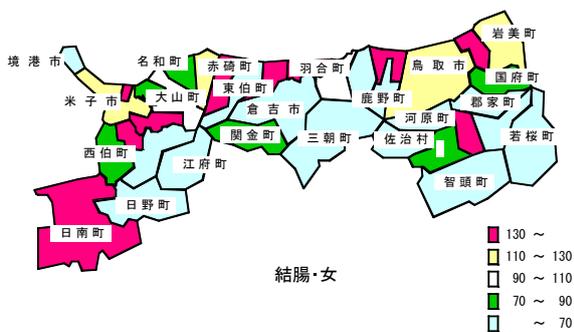
市町村別標準化罹患比—2001—



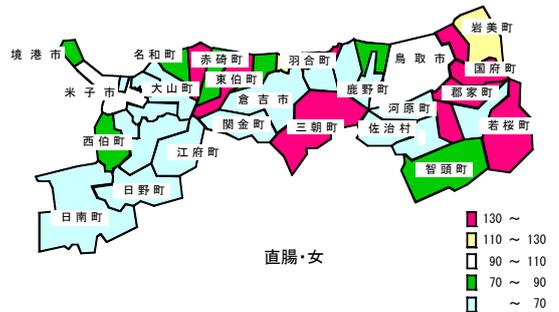
市町村別標準化罹患比—2001—



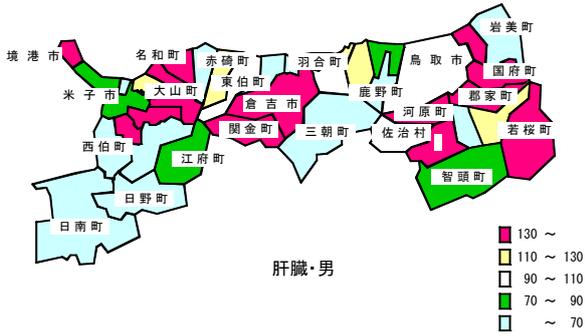
市町村別標準化罹患比—2001—



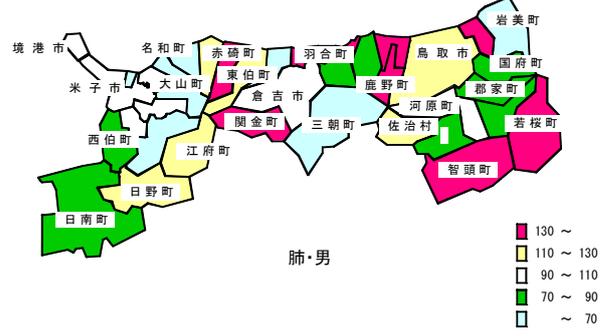
市町村別標準化罹患比—2001—



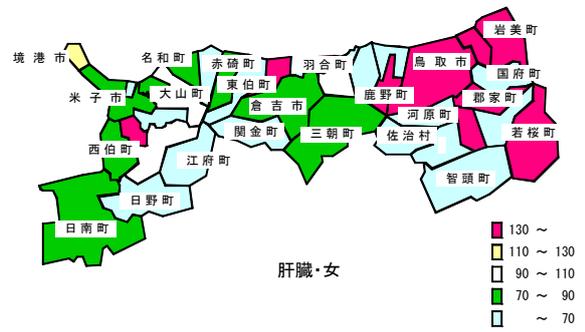
市町村別標準化罹患比-2001-



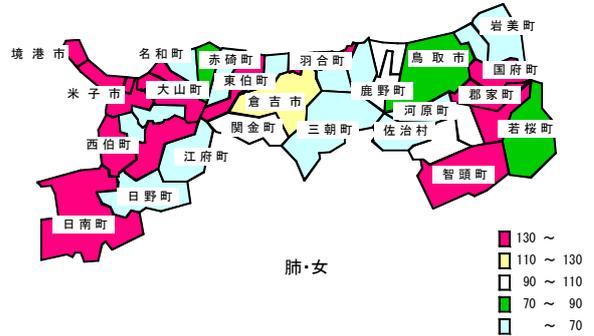
市町村別標準化罹患比-2001-



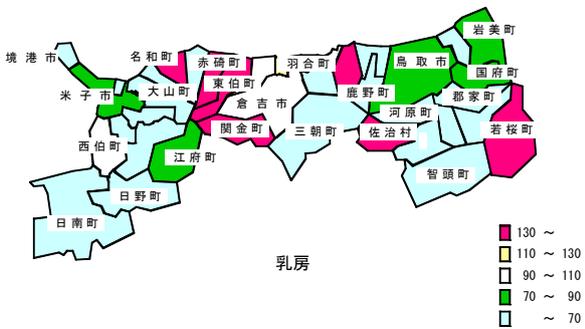
市町村別標準化罹患比-2001-



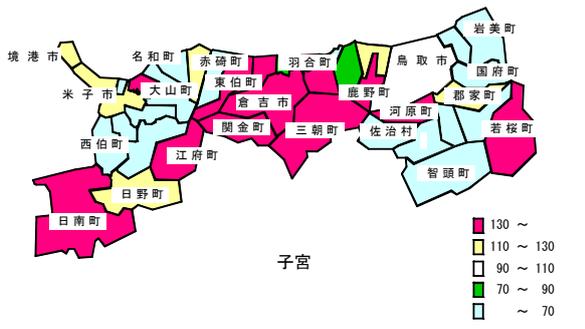
市町村別標準化罹患比-2001-



市町村別標準化罹患比-2001-



市町村別標準化罹患比-2001-



部位別/年齢階級別罹患数/罹患率(粗・調整)/登録精度(DCN・HV)

[トップページ](#)

[キーワード検索:疫学用語の説明](#)

集計対象年	罹患数・粗罹患率(調整罹患率・HV・D・CN)	市町村別罹患数	市町村別SIR(調整標準化罹患比)
昭和54年	男 女 総数	-	-
昭和55年	男 女 総数	-	-
昭和56年	男 女 総数	-	-
昭和57年	男 女 総数	-	-
昭和58年	男 女 総数	-	-
昭和59年	男 女 総数	-	-
昭和60年	男 女 総数	-	-
昭和61年	男 女 総数	-	-
昭和62年	男 女 総数	-	-
昭和63年	男 女 総数	-	-
平成1年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成2年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成3年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成4年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成5年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成6年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成7年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成8年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成9年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成10年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成11年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成12年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮
平成13年	男 女 総数	主要部位	全部位-胃・結腸・直腸・肝臓・肺・乳房・子宮

がん登録対策専門委員会

委員長: 岸本拓治(鳥大医学部社会医学講座環境予防医学教授)

敬称略

平成 18 年 3 月現在

石飛 誠一(中部医師会)	長井 大(県健康対策課長)
石部 裕一(鳥取大学医学部附属病院長)	能勢 隆之(鳥取大学長)
井本八千代(県立中央病院主任薬剤師)	平木 初江(八頭郡八東保健センター主任)
岩垣 陽子(鳥取県医師会事務局)	福島 明(東部医師会)
岡本 公男(県医師会副会長)	藤井 昭(県立厚生病院長)
岡本 幹三(鳥取大学医学部 環境予防医学講師)	藤井 秀樹(米子保健所長)
尾崎 米厚(鳥取大学医学部環境予防医学助教授)	細田 庸夫(西部医師会)
栗原 達郎(県医師会理事)	宮崎 博実(県医師会常任理事)
古城 治彦(山陰労災病院副院長)	村脇 義和(鳥取大学医学部機能病態内科学教授)
武田 倬(県立中央病院長)	山下 裕(鳥取市立病院副院長)

編集後記

今年度は、昨年 7 月のがん登録対策専門委員会において提出された多くの課題が少しずつ解決され、鳥取県のがん登録にも光明がひらけてきた 1 年であったような気がします。

まず第 1 に、届出勧奨や検診発見がんからの新規登録の結果、登録精度が DC0 で 26.1% に向上したことです。また、登録精度の向上をめざして昨年度はじめて実施した補充票の活用による遡り調査の結果、DC0 は 15.3% になりました。第 2 には、届出票の見直しで、新規届出票と届出票記入要領が印刷の運びとなったことです。届出票提出のタイミングを周知することができたことです。第 3 には、念願であった「鳥取県がん登録事業実施要綱」が改正・施行されたことです。これによって、がん登録の届出、登録方法、集計解析とがん登録資料の利用規程が明文化され、念願の宿題が解決されたのです。

今年度も引き続き、がん登録の実務を担当しています小林と岡本が中心になって報告書の編集作業をいたしました。いろいろと不備な点があるかとは思いますが、忌憚のないご意見・ご感想をいただけますと幸いです。

平成 18 年 3 月吉日

鳥取大学医学部環境予防医学
同上 がん登録実務担当

岡本幹三
小林まゆみ